

TOTO

2011年 春号

Toward a Creative
Architectural
Scene

通信

Oriyama Kazuhisa



Ooshima Shigeru

Takagi Eiichi



Hirao Shinichi

Special Feature

Coordinators of
Architectural
Expertise

特集
建築家を
提案する
人たち

建築家を提案する人たち

ひとつの建築、それ自体が新しい情報発信メディアのひとつとして評価されるようになってきたのだろう。商業ビル以外にも建築のみならず建築家をプロデュースする人たちの活躍が見えてきた。集合住宅から戸建て住宅にまで。明らかに今という時代のマーケティングに応える人たちなのだろう。建築現場の知識、デザインの時代性、加えてマーケティング的知識をも含めた問題にも応えられる豊富な経験。時代の動きに敏感に反応する感性もあって建築家を提案することを可能にした人たちでもある。いわば「目利き」か。建築情報が錯綜する今、施主と建築家のあいだに立って、双方を睨む。もちろん感性だけに収まらない大きな器が必要とされる。彼らの思考の流れを知っておくことも、また、建築家にとって重要かもしれない。あらためて多方面で活躍する建築プロデューサーにその意味を問うてみる。

Case Study

3

blocco: Takagi Eiichi x Nagata Naoyuki

Park House Kichijoji OIKOS: Hirao Shinichi x Iida Yoshihiko

Case Study

4

ケーススタディ1 / 写真・藤塚光政
ケーススタディ2 / 写真・秋山亮二
ケーススタディ3 / 写真・山下恒徳
ケーススタディ4 / 写真・川辺明伸

大森晃彦×北山 恒×白井良邦	4	シリーズ		
ミサワホーム・大島 滋	10	旅のバスルーム 80 文 スケッチ/浦 一也 ルスガンガ(スリランカ ベントータ)	42	新商品開発物語 ウォッシュレット「電解除菌水ノズル洗浄」 56
アーキネット・織山和久	18	現代住宅併走 16 文/藤森照信 遠藤剛生の「遠藤邸」	44	TOTOギャラリー 間で展覧会をします 五十嵐淳展「状態の構築」 60
メックecoライフ・平生進一	26	最新水まわり物語 26 羽田空港国際線旅客ターミナル	50	news file 62
タカギプランニングオフィス・高木栄一	34	地域に生きる会社 53 泉北ホーム	54	

「TOTO通信」を
インターネットで
ご覧いただけます。

TOTO Web Site www.toto.co.jp

編集制作/中原大久保坂日編集室 デザイン/岡本一宣デザイン事務所 印刷/ゼネラルアサヒ

特集

Special Feature / Coordinators of Architectural Expertise

Case Study

1

SHAKUJII PLEATS: Oriyama Kazuhisa x Tsukada Makiko

Katsuura M: Ooshima Shigeru x Turu Rico

Case Study

2

TOTO 通信

Contents

特集 建築家を 提案する 人たち

座談会

目利きの時代 建築プロデューサーがひとつの流れになっている

ケーススタディ1

「戸建て住宅」に建築家を提案

ケーススタディ2

「小規模コーポラティブハウス」に建築家を提案

ケーススタディ3

「小規模分譲マンション」に建築家を提案

ケーススタディ4

「賃貸マンション」に建築家を提案

Toward a Creative
Architectural Scene
Number 493
Spring 2011

表紙=「建築家をプロデュースする人たち」。
左から大島滋さん、織山和久さん、平生進一さん、高木榮一さん。
写真(左から)／藤塚光政・秋山亮二・山下恒徳・川辺明伸



Shirai Yoshikuni

Omori Akihiko

白井良邦

「カーサ プルータス」副編集長

大森晃彦

建築ジャーナリスト

建築プロデュースがひとつの流れになっている

近年、建築家を起用して住宅を提案する「建築プロデュース」がひとつの流れになっている。建築プロデュースとは何か、時代背景やその影響力、建築家はどうかに対応すべきかなどについて、それぞれの立場から自由に語っていただいた。

まとめ／大山直美 写真／山内秀鬼

の時代



Kitayama Koh

北山 恒

建築家



特集／建築家を提案する人たち

座談会

目利き

白井良邦

「カーサブルータス」副編集長

北山恒 僕は今回の特集にも登場している建築プロデューサー、タカギプランニングオフィスの高木栄一さん(34〜41ページ)と、アーキネットの織山和久さん(18〜25ページ)とは、それぞれが会社を立ち上げる前からの付き合いです。高木さんとは、まだ僕と木下道郎と谷内田章夫の3人でワークシヨップという設計事務所をやっていた1980年代に知り合い、いわゆるデザインーズマンシヨンの先駆けとなる賃貸集合住宅づくりと一緒に仕掛けていました。一方、織山さんから建築で何かビジネスをやりたいと相談を受けたのは90年代に入ってからで、ちょうどバブルがはじけて土地の値段が下がってきた頃だったので、都市に対する住宅の提案としてはコーポラティブハウスが一番いいやり方ではないかと考えて、一緒に第1号をつくったんです。

そもそも、デザインーズマンシヨンプムって95年からですよね。高木さんがプロデュースした集合住宅に入りたいという人が何百人も列をなしたり、『ブルータス』(マガジンハウス)編集部から事務所に「おもしろい集合住宅を探しています」というアクセスが入ったりして(笑)。

白井良邦 そうですね。私自身も以前は『プ

「『カーサブルータス』は、建築をファッションでいう『モード』として取り上げてきました」

Shirai Yoshikuni

ルータス」編集部にいたんですが、当時の看板企画が「有名建築家が建てた集合住宅」特集でした。これがものすごいヒットで、建築だけでこれだけ売れるのであれば、そこだけをスピンアウトさせて1冊雑誌がつかれないかということ、今の「カーサブルータス」(マガジンハウス)が生まれたんです。

北山 ああ頃感じたのは、社会が変わってきたということでした。ひとつには家族が変わった。東京ではひとりかふたりで住む人たちの割合が増え、彼らが自分たちに合った住まいを探しはじめたんです。それともうひとつ、95年はウインドウズ95が生まれた年で、人々のコミュニケーションの手段が変わりつつあったんですよ。

大森晃彦 まさにインターネットが動き出したときですね。

北山 そう、その5年後、織山さんがコーポラティブハウスの募集をネットで始めた2000年頃には、多くの人がパソコン上で見た情報に大金を払って建物を1棟建てるどころまで時代は行ってしまった。

大森 公共の集合住宅には建築家がかかわってきた歴史が連綿とありますが、民間の集合住宅では建築家はせいぜい外観やエン



Special Feature / Round-Table

トランスをデザインするだけで、なかなか中のプランにまで踏み込めなかった。それが、ちょうど95年頃から、経済的な変動のなかでそのままではだめだと考え、新しいビジネスを始める建築プロデュース会社が生まれ、建築家の活躍の場も広がったということだと思います。

北山 たぶん、従来のディベロッパーは、ある人にとってはいらぬモノをいっぱい付けて商品として売っていたんですね、シヤンテリアとか金の取っ手とか(笑)。そうではなく、もっと合理精神に基づいたシンブルな空間を用意するということに対して、賛同し支持する人が意外にたくさんいたということじゃないでしょうか。

大森 安藤忠雄さんのRC打放しがかっこいいという人が急増したのは、「ブルータス」

とトレンディドラマの影響も大きい(笑)。白井 ただ最近は少し傾向が変わってきましたね。「カーサブルータス」では年に1回、前年の1年間につくられた住宅をまとめて特集した号を発売していて、以前は集合住宅だけを集めたページをつくっていたんですが、去年からはそういうカテゴリー分けをなくしたんです。それはたぶん「カーサブルータス」がおもに、ファッションでいう「モード」——自分が着るかどうかは別として、時代の潮流として出てきた特異なもの、目立つものを取り上げているのに対し、集合住宅に関してはそういう最先端のモードは減って、洋服でいうとセレクトショップに行けば自分で買えるような「リアル・クローズ」が増えてきたからじゃないでしょうか。

北山 そういう意味では、スタンダードになっただけですね。

土地所有制や相続税がデザイナーズマンションを誘発する

北山 それまでのディベロッパーというのはまずマンションが建つ土地を探して、その用地のなかにマンションというビルディングタイプをただ建てるだけです。ところが、東京の住宅密集地にある旗竿地などの変形敷地だと、そういうビルは建たな



Omori Akihiko

「今の若い人が考える住宅のイメージは、もはや昔の『住宅すころく』のように、ゴールが庭付き二戸建てではないですね」

北山

建築家

恒

いんです。そこに建築家が入って工夫をすれば、ユニークな空間がつけれるということに気づいたのが高木さんたちなんです。

もともと80年代に、ワークショッパの3人で町場の小さな不動産屋と始めたのは、東京の土地が高騰するなかで、相続税対策としての賃貸マンション事業でした。都内に先祖代々の土地をもつ地主さんにとって一番こわいのは土地を失うことで、そんなに利益は出なくてもいいんです。そこで、まず負債を負ってもらって賃貸マンションを建てれば資産が圧縮されて節税になり、土地を手放さずにすむという事業スキームです。そんなビジネスモデルをつくって大まじめで、僕たちはみんな地主たちにピラを配って営業したりコンピュータを導入して返済計画のシミュレーションソフトを開発したりしていました(笑)。当初はうまくいきませんでした。80年代末には高木さんたちと小さな土地をもつ地主のプロジェクトをいくつか実現させることができました。

——なるほど。そういう地主さんは今も大勢いるんでしょうね。

大森 全国には3000万人の地主がいま

すから。

「巨大ディベロッパーとそれを取り巻く小資本が手がけているものが同時に動いている多様な東京だからこそ建築プロデュースも成り立つと思います」



Kitayama Koh

北山 そう、東京だけで180万人もいる。こういうものが生まれてきた背景には日本の土地所有制がありますよね。ヨーロッパでは都市で土地を所有している人なんてほとんどいませんから。

白井 土地所有制や相続税がデザイナーズマンションを誘発する一方で、名作モダンズム住宅のように、各100〜150坪の土地に一軒家が建ち、それなりの住宅街を形成しているところがどんどんなくなっていく。取材しているとそういう新陳代謝を感じますね。

北山 それは戸建てという建築の形式と中身が合わなくなってきたせいでしょうね、一大家族一住宅という。100坪の敷地に立つ名作住宅には昔は5〜6人住んでいましたが、今はおばあちゃんがひとり暮らししているといった具合に。

大森 今の若い人が考える住宅のイメージは、もはや昔の「住宅すごろく」のように、ゴールが庭付き一戸建てではないですね。北山 郊外に一戸建てをもって満員電車で通勤するより、都市のなかでもっとぎゅっとコンパクトに住んで、自転車通勤して、近くのレストランやバーに行ったり、演劇を見に行ったりする生活を楽しむほうが

いという人が増えたんだと思います。

多様な東京 だからこそ建築 プロデューサーも 成り立つ

北山 織山さんや高木さんを見ると、建築が好きでくわしいし、都市に対する明確な思想をもっていますよね。集合住宅を建てると普通は地主が自分の最大利益のためにつくるわけですが、彼らは、周辺も含めた街をよくしようという精神で建築をつくる人を選んで一緒に建物をつくり、そういう建物が複数できることによって街をよくくしたいんです。狙っているのはちやうど古い木賃アパートが立ち並ぶ、東京都の木

造密集市街地整備地区のあたりです。

白井 以前、織山さんを取材したのですが、本来なら公共が整備すべき密集地を民間が変えていこうという思想はさすがだと思いました。

北山 東京という都市は、巨大ディベロップが中心の島の部分の大規模再開発をやって、その島を取り巻く海というか周辺部の泥沼のあたりの開発を彼らのような小資本が手がけている……両方が同時に動いている感じがしますね。このメカニズムは地方都市ではできない、多様な東京だからこそ建築プロデューサーも成り立つと思います。大手ディベロップだけでなく、高木さんや織山さんも都市をつくっているんですね。

——若い建築家にとって、建築プロデューサーから指名されて大きな仕事を任せられるというのは、ありがたいことですね。

北山 クライアントをひとりつかまえばいい戸建て住宅と違って、大きな社会性をもったものをつくるというのは建築家にとって非常に大事で、そこで鍛えられるし、本当にありがたいことです。集合住宅の場合、設計料ではなく設計「量」が膨大で大変ですが(笑)。

白井 こと東京に関しては、建築プロデューサーが活躍する余地はまだまだありそうですね。

大森 これまでにないものをつくり出すときには、やはり明確なプロデューサーの存在が欠かせないと思います。

北山 今は社会がガラガラと大きく動いているから、かなり嗅覚をもっていなければできない仕事ですね。建築家にもそういう嗅覚が必要だと思っています。多様な都市をつくるということが大切なんじゃないでしょうか。



大森晃彦

Omori Akihiko



北山恒

Kitayama Kohji



白井良邦

Shirai Yoshikuni

建築ジャーナリスト 建築メディア研究所代表。1955年東京都生まれ。78年早稲田大学理工学部(現創造理工学部)建築学科卒業。80年同大学大学院修士課程修了後、新建築社入社。『新建築住宅特集』編集長、『新建築』編集長、取締役編集局長を歴任。2010年退社。紙/Digital、Still/Movieにこだわることなく、ビジュアルイメージを大切にしながら建築を伝えることをめざし、同年建築メディア研究所設立。建築写真家集団とともに、新たな建築メディアのあり方を試行している。

建築家。architecture WORKSHOP主宰。横浜国立大学大学院Y-GSA (Yokohama Graduate School of Architecture) 教授。1950年香川県生まれ。76年横浜国立大学工学部建築学科卒業。80年同大学大学院修士課程修了。95年同大学助教授を経て、現職。おもな受賞作品=「白石市立白石第二小学校」(96 共同設計 日本建築学会作品選奨)、『HOUSE IN HOUSE』(96・東京建築士会住宅建築賞)、『公立刈田総合病院』(2002・共同設計 日本建築学会作品選奨)、『洗足の連結住棟』(06 日本建築学会賞 日本建築家協会賞)。タカギブランニングオフィス プロデュース作品に「集合住宅20K」(04)、『one+half』(06)、『集合住宅SK』(09)、『clover-house』(10)、アーキネット プロデュース作品に「下馬の4軒長屋」(03)、『三宿の集合住宅』(05)、『Glasfall』(08) などがある。

マガジンハウス『カーサブルータス』編集部副編集長。1971年神奈川県生まれ。93年明治学院大学法学部法律学科卒業。同年マガジンハウス入社。『ポバイ』『ブルータス』編集部を経て、現職。『カーサブルータス』には、98年創刊準備から携わる。おもに建築デザインを担当し、『丹下健三特集』『安藤忠雄特集』『SANAA特集』『美術館特集』『住宅特集』のほか、『ドコモモ/モダニズム建築を救え』などのムックや、2008年「デザインマイアミ/バーゼル」(スイス)での展示「若手建築家5人の現代美術館構想」のキュレーションも手がける。



Special Feature / Round-Table

「戸建て住宅」に建築家を提案

Special Feature
Coordinators
of
Architectural
Expertise

Case Study

Ooshima Shigeru



Turu Rico

「勝浦M」のアプローチと玄関先にたたずむ大島滋さん(右)と都留理子さん。右手に向かうと海へとなだらかに下る。

ケーススタディ 1



建築家は人間性で選ぶ



Coordinator / Oshima Shigeru

都留さんを提案した人

大島 滋

おしま しげる / ミサワホームAプロジェクト室室長。1949年東京都生まれ。72年青山学院大学経済学部経済学科卒業。同年～78年モビリア勤務。81年よりロサンゼルス輸入商社MIT。97年ミサワホームインテグレーション取締役。2009年より現職。

—— 建築プロデューサーは今かなり力が出てきて、ひとつの波になっています。そのなかでも大島さんは、戸建て住宅を始められたことに大きな特徴があると思います。これまでに、建築家とはどれほどのプロジェクトを手がけてこられたのでしょうか。

大島 滋 一般に公開されていないものも含めると、50～60件はあります。今では戸建てだけでなくマンションの分譲物件も、建築家と一緒に進めています。—— Aプロジェクト（左ページ下参照）はミサワホームのなかでは特殊な位置付けにあると思います。が、社内で認められたのはなぜですか。

大島 業績を上げて、利益を出したからです。私のもとと文系の出身で、建築に携わるようになったのは、ミサワホームに入社してからのことです。リフォームを行う関連企業のミサワホームインテグレーションで長く働いていました。地域に密着して増改築の情報を集めていたのですが、あるときに大規模なニーズがあったため外部の建築家を探したことが、建築家と協働するきっかけになりました。ミサワホームに入社する前には、輸入家具商社に勤めていたのですが、そのときのネットワークが役立つたのです。

—— そのときはどのような建築家を選んだのですか。
大島 増改築の案件は複雑な条件が重なって難しいので、ベテランで力のある方々に依頼しました。物件数も多く、また時間が限られているなかで、クラ

イアントの要望を具現化できる建築家を選んで対応していただきました。クライアントにどのような建築家をつけるかについては、「合うな、と思える人」としか表現できません。以前には輸入家具を扱っていたのですが、家具の流通には人と人との結びつけが底辺にあります。建築家も、付き合うなかで人間性を感じ取り、パーフェクトではないにしてもクライアントに合う人を選んで紹介してきたつもりです。—— 若手の建築家にも積極的に依頼されているのはなぜでしょうか。

大島 じつは、建築家に依頼しようと思ったのは、以前に実家のアパートの建て替えで塚本由晴さんに依頼した経験があったからです。塚本さんが設計された「パレット」(1990)という住宅を目にしてすぐに連絡をとったので、もう20年ほど前のことです。「ハスネ・ワールド・アパートメント」(95)は、みかんぐみの竹内昌義さんにも加わっていたき完成しました。そのときに、彼らがとにかく生懸命に設計する様子を見て、つくる喜びが伝わってきた

高台に立ち、3つのRC造の鉄骨フレームが目を眩ませる。1面は海を眺めるテラス。

のです。ベテランの建築家に少し物足りなさを感じたこともあって、若手建築家にも声をかけていきました。その後にも彼らを紹介して設計した建物がメディアに多く取り上げられたりして、可能性を実感しました。

建築家に要望や条件を的確に伝える

—— 都留さんが大島さんに出会ったのは、どのようなきっかけでしたか。
都留理子 2004年に自宅「下作延K」を設計し、雑誌に掲載されたのを大島さんの娘さんが見られたことでしたね。

大島 建築の設計をしている娘が、「この住宅は見てみたい」と言うので、連絡してみました。若い建築家に、作品がよさそうというだけでコンタクトすることはありませんから、都留さんは例外と言えますね(笑)。もちろん、お会いして人柄もよかったです。

都留 ちょうど「勝浦M」のプロジェクトでは転換点にあり、設計者を替えようと思われていたようで、2者のコンペ形式で声をかけていただきました。大島 どの案件でもコンペをしているわけではないのですが、このときはクライアントの要望もあつて

会社概要 ミサワホーム株

本社所在地 / 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

電話 / 03-3345-1111(代)

URL / www.misawa.co.jp

設立 / 2003年8月1日

業務内容 / 住宅の設計 製造 販売・施工

コンベ形式としました。当初の設計者は、クライアントの求めるものとのズレが大きくなってきたことと、予算がかなりオーバーすることから、やむなく断念したのです。

—— この家は別荘として計画されていますが、条件としてはどのようなことがありましたか。

大島 敷地が高台にあるので、2階のリビングや浴室から海を見たいということが最大の要望でした。場所性を生かしてほしい、と都留さんをお願いしました。

都留 クライアントには、私と同世代の4人の息子さんがいらつしやいます。それぞれの家族が遊びに来て、バーベキューなどアウトドアの活動をするだろうなど予想しながら案を考えていきました。クライアントへのプレゼンテーションの後に案を少し修正したのですが、その際に2階のワンルーム空間の上部にぐるりと連続窓をまわしました。敷地をもう一度見て、海とは反対方向の背後に広がる山の緑を取り入れようと考えたためです。

大島 構造の検討に、意外と手間取っていましたね。都留 1階がRC造で2階が鉄骨造の混構造としていたためですね。木造ではどうしても壁が出てきてしまい、2階の窓が途切れてしまうので鉄骨の柱梁で成り立たせています。配線を壁内に納めることができないので天井に照明を設けませんでした。クライアントは海外の住宅での照明配置にも慣れてい



したいと考えていました。2階の開放的なボリュームの下は1階個室の軒下になっていて、建具を開け放つとどこから家なのかがいまいになります。個室とつながる玄関スペースも、外のように感じられる空間です。

建築家らしさを 発揮してもらおう

—— 都留さんにとって、プロデューサーのかかわるプロジェクトは初めてでしたか。

都留 そうです。今に至るまで、実現したのはこの別荘だけですが、普段の設計の進め方とくに変わらなかつたという印象があります。ただ、普段はクライアントと1対1で、案に対してクライアント以外の意見を聞きたいこともあります。少し困ったときに大島さんにタイミングよく助け船を出してもらったり、見積もり調整のときにきちんとアドバイスをいただきました。クライアントへのプレゼンテーションに意見を伝えていただくことで、案の説得力が増したことがあります。

大島 プロデューサーには、クライアントに覚悟を決めてもらう役割もあると思います。予算内に収めることも重要ですが、建築家の意図を尊重させて実

Aプロジェクト

ミサワホームの顧客は、希望条件により、建築家に設計を依頼することができ、コーディネートはAプロジェクト、監理・施工はミサワホームが請け負う。施主・建築家・ミサワホームの共同作業により住宅を設計・施工する。現在登録建築家65名（2011年3月現在）。

URL: www.a-proj.jp/



建築家

都留理子

つる りこ / 建築家。1971年福岡県生まれ。94年九州大学工学部建築学科卒業。94～96年青木淳建築計画事務所、97～98年シーラカンス（現C+A）勤務。98年都留理子建築設計スタジオ設立。おもな作品＝「ウシジマクリニック」（99）、「葛飾H」（2001）、「下作延K」（04）、「生HH」（06）、「世田谷S」（08）など。

URL: www.ricot.com

四周のうち1面がテラスで、3面は水平の連続窓がまわる。360度ぐると続く風景を部屋から楽しめる。



Katsuura M

写真中右ノ腰壁の高さは床から1,350mm、右手のガラスの高さは1,030mm。

2F



間仕切りも上部は開放している。



写真右ノ鉄骨の柱はコーナーを避けて設置。左ノ洗面 浴室からも外やリビングダイニングとのつながりが感じられる。

エントランス東側を見る。床はモルタル仕上げで大きな窓が複数あり、外からつながるようなスペース。



Special Feature / Coordinators of Architectural Expertise Case Study 1

1F

写真右/トイレ・2階への階段・納戸が納められたボックスを奥に見る。



現させたいという思いもあります。ですから、その建築家らしさが出なければ意味がありません。プロデューサーはクライアントをサポートすると同時に、建築家をサポートする役目もあるのです。

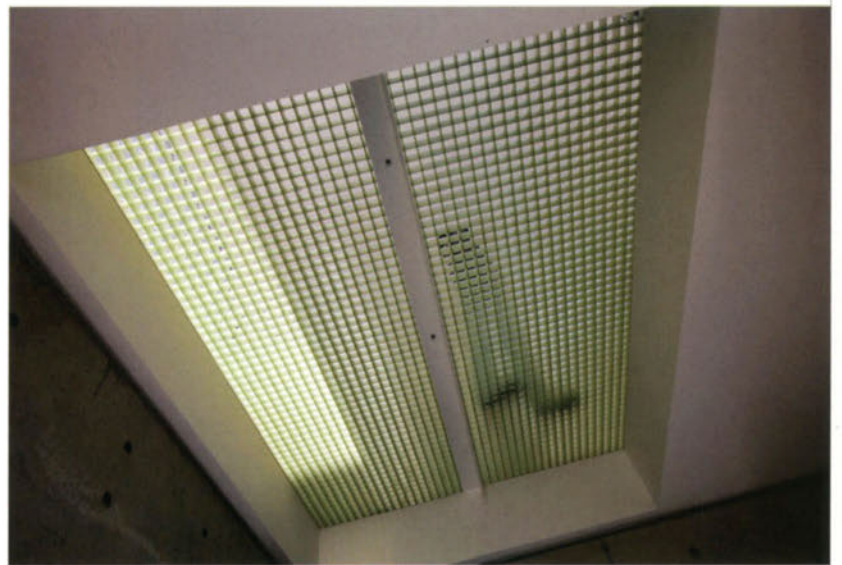
—— デザインに口を出すこともあるのでしょうか。大島 場合によってですが、とくに初めの段階で見せることはあります。それはやはり、出てきた案にその建築家らしさが出ていないと感じるときです。「心外だ」と言われたこともありすが(笑)、修正案がクライアントに喜んでももらえてみんなが納得したこともあります。

—— ささまざまな方と付き合いがあると、デザインやコストについての押しどころがわかってくると思うのですが、何かポイントはありますか。

大島 ローコストといって押し込むよりは、予算を少しオーバーしても、まずはその建築家らしさを出してもらいたいのではないかと考えています。必要であればクライアントにも少し余分に出してもいい、期待以上のよいものをつくってもらおうと心がけています。

設計の力を 知ってもらいたい

—— プロデューサーのシステムが伸びているのは、どのような需要があるからだとお考えでしょうか。大島 「建築家のもとに直接訪れても、言いたいことを言えない」という意見はよく耳にします。建築家に何か勝手に進められてしまうのではないかと、という不安があるのでしよう。



1階エントランスと
2階リビングダイニングはFRPグレーチングで視線や空気が
適度に抜ける。

Special Feature / Coordinators of Architectural Expertise Case Study 1

よう、建設工事中のリスク回避や建てた後の保証面から、ミサワホームがもつバックアップ体制が魅力的に映るようです。

—— プロジェクトの施工はすべてミサワホームで行うのでしょうか。

大島 そうですね。ミサワホーム独自の各種審査を通った指定業者があり、物件規模や構造形式に応じて適した業者が施工します。私たちは施工業者も信頼できる会社を選び、みなでいいものをつくらうとしています。

—— 最近のプロジェクトの動きはいかがでしょうか。

大島 去年の暮れに、20階建てで約100戸が入る分譲マンションのコンペをAプロジェクト主体で開催しました。あるクライアントから、アトリエ系の事務所にも案を考えてもらえるものだろうか、と相談を受けたことがきっかけです。アトリエ

都留 私が設計相談を受けたなかには、建築家紹介サービスで何人かの建築家と会って話をされてから来られた方もいました。建築設計事務所に直接相談するというのは、まだまだハードルが高いのでしようね。

大島 雑誌などのメディアには建築家が多く掲載されるようになって気軽に相談できそうではありますが、実際の行動は伴っていないということでしょうね。また、今のクライアントは保守的な傾向が強い

の事務所2社と、組織設計事務所1社に声をかけました。結局は組織設計事務所に決まったのですが、このコンペではクライアントが付き合っていた設計事務所とのレベルの差が歴然としていることが明らかになったのです。それで、以降の案件がすべてAプロジェクトに来るようになりました。設計の力をまだ知らない事業者も多いなかで、有能な建築家に興味をもつようになってもらったことは、とてもうれしいと感じています。



東側からの外観。2階の正方形ボリュームの下は、1階個室の軒下にもなる。

「勝浦M」

建築概要

所在地	千葉県勝浦市
主要用途	別荘
企画	ミサワホームAプロジェクト室
設計・監理	都留理子／都留理子建築設計スタジオ
構造設計	大賀建築構造設計事務所
施工	ミサワホームインテック東京
敷地面積	491.25㎡
建築面積	95.52㎡
延床面積	130.74㎡
建ぺい率	19.44%
容積率	26.61%
構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造
規模	地上2階
設計期間	2004年11月～2005年5月
施工期間	2005年6月～12月

おもな外部仕上げ

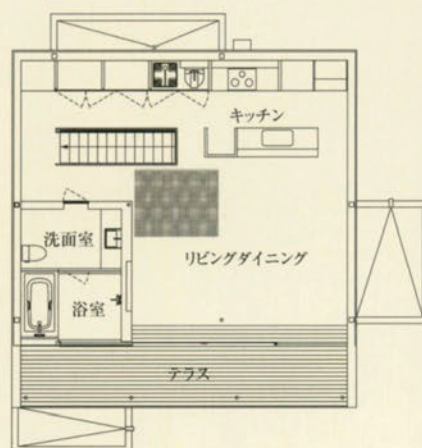
屋根	1階／コンクリート下地ウレタン防水 2階／耐火野地板t=15mm シート防水のうえ、防水層保護化粧材
外壁	ケイ酸カルシウム板t=12mmシリコン塗装
開口部	アルミサッシ、木製サッシ
外構	アプローチ／PC板敷き 駐車スペース／土間コンクリート一部枕木敷き 植栽／マンサク、オリーブ

おもな内部仕上げ

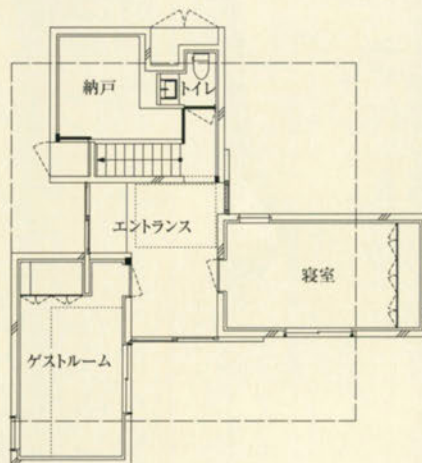
2階LDK	床／無垢フローリング(ナラ)t=15mm 壁／PBt=12.5mm張り EP塗装、 ラワン合板t=12mm張り 植物性ワックス塗布 天井／PBt=9.5mm張り EP-G塗装
1階エントランス	床／モルタルt=50mm金ゴテ仕上げ シールハード塗布 壁／コンクリート打放し 天井／PBt=9.5mm張り EP-G塗装
1階寝室	床／ラワン合板t=15mm 植物性ワックス塗布 壁／PBt=12.5mm張り EP塗装 天井／PBt=9.5mm張り EP塗装

平面図

0 1 2m



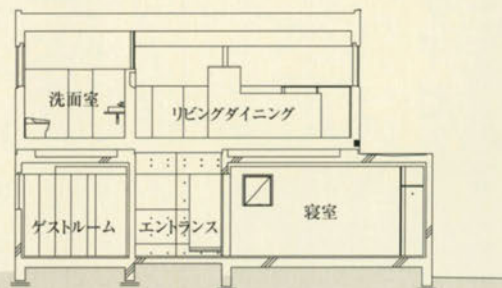
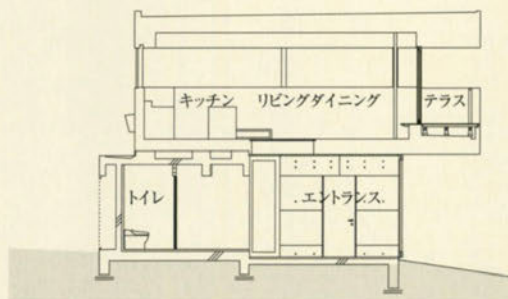
2F



1F



断面図



1/200

「ハウス」に建築家を提案

建築家と社会の橋渡しをしたい

南東の道路側から見た「石神井プリーツ」。エントランス前の織山和久さん（右）と塚田眞樹子さん。右手にとられた空地から各戸にアプローチする。

ケーススタディ 2

「小規模コーポラティブ

Oriyama Kazuhisa

Special Feature
Coordinators
of
Architectural
Expertise

Case Study

Tsukada Makiko

2

SHAKUJII PLEATS



塚田さんを提案した人

織山和久

おりやま かずひさ / 1961年東京都生まれ。83年東京大学経済学部経済学科卒業。大手都市銀行を経て、同年マッキンゼー アンド カンパニーに入社。コンサルタントとして、建築 不動産 金融 官公庁をはじめ、地域 都市経営に関するプロジェクトに従事。95年アーキネット設立。インターネットを利用し、建築家とつくるコーポラティブハウスを企画 運営し、現在までに約70棟を竣工 進行させている。おもな著書＝『東京いい街、いい家に住もう』（NTT出版）、『建設 不動産ビジネスのマーケティング戦略』（ダイヤモンド社）、『アジア合州国の誕生』（共著 ダイヤモンド社）、『変遷のマネジメント』（共著 NTT出版）。

—— まず織山さんのバックグラウンドをうかがいたいのですが、大学で経済学部を出られてからのことを教えてください。

織山和久 まず銀行に入社しました。金融手段で会社を育てる仕事がしたいと思って就職したのですが、実際はミスなく仕事をまわしていくことが第一なのだと気づき、これは向かないかと4カ月で退社します。マッキンゼー・アンド・カンパニーというコンサルティング会社に入り直し、11年勤めました。会社を純粹に育てられるということで続けていたのですが、そのうちにやはり自分で会社をつくって育てたいと思い、会社を始めました。

—— 会社を興すときには

お金も必要で大変だったと思います。そのあたりの決心はいかがでしたか。

織山 わりと脳天気になりました。当時はバブル経済が崩壊し不良債権がたくさん出た頃で、それらを建築家と一緒にコンサルティンクの延長で消化できればいいなと思っていました。元手がなくても開発企画を請け負い、事業を組み立てて開発計画をし、銀行に提案



して対価を得ることはできません。当時は不動産開発のプランニングといえればお決まりのようにビルやマンションがつくられていたのですが、もう少し考えればいいのに、と思っていました。一般的に商品を開発するときにはマーケティングをするものですが、不動産業界ではそうされた形跡がありませんでしたから。

—— もともと建築家とお付き合いがあったのでしょうか。

織山 ほとんどなかったのですが、マッキンゼー東京支社長が前川國男さんの建築設計事務所出身で、建築の話を少し聞いていました。また、設計事務所

のコンサルティンクを1年ほどしていたことがあります。会社をつくる直前に話を聞いていたのは、芦原太郎さんや彼の事務所に遊びに来ていて知り合った北山恒さんでした。そのときは麻布十番のお祭りを盛り上げるアイデアを雑談で話されていたのですが、集合住宅で住む人を集めてからつくればおもしろい、という話をされていたのを覚えています。すぐれた建築家とお会いすると、街をつくる建築になかなか参加できていない状況が残念で、何か橋渡しができるばいいなと思ったのです。「アーキネット」という社名には、そうした意味が込められています。また「ネット」にかかわる話では、1995年当時に商用化しはじめていたインターネットを事業でも使えればいいと思っていました。

塚田眞樹子 インターネットを時代に合うように有効活用したということですね。

織山 最初は今のような形になるとは想定していませんでしたが、マーケティングとマーケットをつなげるのにインターネットには可能性があると感じていました。会社を立ち上げてから分譲マンションの開発企画も行うようになったのですが、せっかくよい企画を考えても途中で変更されることもありました。顧客と建築家のあいだにさまざまな意向が入ってくると、世の中の建物はよくならないことを実感します。それで、ホームページ経由で先に感受性の高い建て主が集まれば、中間に余計な人が入らず、

会社概要 株アーキネット

所在地 / 東京都渋谷区神泉町20-24 ブリックス5階

代表取締役 / 織山和久

電話 / 03-5458-2430

URL / www.archinet.co.jp

設立 / 1995年6月 資本金 / 208,500,000円

業務内容 / コーポラティブハウスなど、不動産の企画・運営、ガーデニング用品の企画・販売

従業員数 / 27名

建築家の提案する空間がそのまま表現されるのではなくいかと考えました。ただ自分自身、コーポラティブハウス自体をやりたいとは思っておらず、人まねの企画ではなくゼロベースで事業

を組み立てていきました。よく調べるとコーポラティブにはたくさんの方があるのですが、みなさん大変なことをしているなと思いました。自分たちは素直に、建築家の提案する空間をホームページそのまま伝え、実現しようとしたのです。

塚田 織山さんは自分たちの方式をコーポラティブハウスとは呼ばずに、私たちにも「アーキネットスタイル」と説明されていますね。

建築家の提案ありきの住棟計画

—— 今まで何棟を手がけられましたか。

織山 進行中の物件も含めると、70棟になります。建築家は20人ほどにお願いしてきました。塚田さんには、たまたま雑誌やホームページを見て、いいなと思い電話をかけました。

東面。ガラス張りの凹面(ブリーツ空間)より各住戸にアプローチする。開口部は造りの外壁は2種類の特注色ブロック。ひとつは焼き上げた後、工場でも叩き仕上げにしたもの。

塚田 織山さんには電話で、いきなり石神井をお願いしたいと言われたように記憶しています。でもコーポラティブハウスは大変ということを実際に手がけたことのある設計者から伝え聞いていましたので、最初はお引き受けするのは難しいのではと思っていました。プロデュース会社が入っていても、あくまで建て主の希望にしたがう自由設計というのがコーポラティブハウスの売りですから。ただ、説明をうかがうと「アーキネットスタイル」は建築家の提案ありきということで、そこが決定的に違うところでした。

織山 そもそも私は集合住宅は半公共的なもので、施主が完全に自由設計できるものだとは思っていません。事業の仕組みとしては、建築家の提案が生きるようにと考えました。

—— 「石神井ブリーツ」での与条件はきびしいものでしたか。

塚田 そうでもありません。通常の案件では容積率を使い切ることを要求されるのですが、「石神井ブ

リーツ」ではかなりゆとりがあります。織山さんは最初に説明にいらしたときから、「街並みをよくしたい」と言われていましたけれど、ここまで受け入れられるとは思っていませんでした。プランニングは最初から個性的なものを提案しました。それでも却下されず、まずはホームページ上で募集されたのです。希望者があまり集まらなかったことから、今の形に変えて提案しました。組合を立ち上げ後の最終案では、下2層分の住戸に光を届けるために、上2層分の住戸の面積を縮めることを提案しました。また光や風が入るようブリーツ状に設けた共有空間は面積的にはインフィルに入りますが、スケルトンとして素材などを統 して決めさせていただきました。あのブリーツ部分を外に対して閉じて各自の領域にしていたら、建物全体の魅力がなくなってしまうでしょう。ただ、この変更では建て主の方々に集まってもらい、時間をかけて説明して了承していただきました。あいだにアーキネットが入りながら、設計者の立場でいてくれたことが大きいと思います。

織山 ゴルフにたてるなら、私はフェアウェイとホールは設定しますが、アプローチのしかたは建築家が専門ですから、そこはお任せしています。自分が建築家に依頼する判断基準は、簡素で深い空間をつくれることです。室内の空間ではいろいろな暮らし方をされますから、凝った造形がされなくとも空間が豊かなことを重視します。それは光の具合も含



建築家

塚田真樹子

つかだ まきこ / 1961年北海道生まれ。86年北海道大学工学部建築工学科卒業。86~89年大林組構造設計、89~93年竹山実建築総合研究所、93~94年坂茂建築設計を経て、95年塚田真樹子建築設計設立。おもな作品=「KOZUKI HOUSE」(2010)、「KONDO HOUSE」(08)、「S&S HOUSE」(08)、「Z&Z HOUSE」(06)、「V&V HOUSE」(04)、「F&F HOUSE」(03)、「G&G HOUSE」(03)、「U&U HOUSE」(00)、「L&L HOUSE」(98)、「M&M HOUSE」(96)。URL: www.15.plala.or.jp/maaa/

F住戸3階からの見下ろし。住戸狭間のこのブリーツ空間は動線や視線の通り道となる。



SHAKUJII PLEATS

上下2住戸へのアプローチ階段。エントランスはそれぞれ地階と2階にある。

2階F住戸玄関。3面から差し込む自然光が透明感のある吹抜け空間をつくる。



F住戸2階リビング
ダイニング。左手ブ
リーツ部に面した開
口の向こうはE住戸
の外壁。



Special Feature / Coordinators of Architectural Expertise **Case Study 2**

F住戸3階書斎。左
手は収納。収納を回
遊すると寝室につな
がる。

上写真の見返し。奥
がキッチン。右手玄
関への引き戸を閉め
たところ。



写真右/3階バスル
ームと洗面コーナ
ーはガラスで仕切る。
左手前の引き戸は書
斎との開仕切り用。
右はトイレ。左/寝
室。



みます。豊かな光があると、何もなくても気持ちのよい空間になるものです。自分もコーポラティブハウスに住んでいて、最低限の仕様をしています。「これでも住める」とわかっていただくために(笑)。施主の立場からすれば、気持ちのいい空間であればお金を払います。専有面積の大きさにこだわる分譲マンションの発想とは異なりますね。

マーケティングと市場を的確に判断する

塚田 購入される敷地についてのリサーチはどのくらいされますか。

織山 時間をかけてくわしく調べますね。スタッフが業者をまわって探してきた土地の情報の内容はまちまちですから、自分で現場に自転車で行って確認します。「この街にはこういう人が似合う」ということを、土地を見て空気を味わいながら考えるのです。商品開発と同じことでしょう。たいていの場合、100坪ほどの規模の土地を探しています。縦長で分割することができず、そのわりには容積をとれてリーズナブルというもので、旗竿形状や崖地が多いですね。そこに平均すると6戸ほどの住戸を計画します。これまでに3〜10数戸の規模を手がけていますが、6戸程度が適切でしょう。コミュニティのサイズとしてまとまりがありますし、計画中も組合員の意見が極端な方向に走らないですみます。

——「石神井ブリーツ」で壁にブロックを使われたのはどうですか。

塚田 これまでのアーキネットのプロジェクトで見られたRC打放しよりも、表情豊かなものにしたかったことがあります。最初の案でも、RC打放しの



南面全景。2種類のブロックの無表情な外観に、独特の雰囲気を与えている。

壁に木の板を張る仕上げにしてみました。しかし、構造と表層を切り離すことができず、一体で表現できるものはないかと考えていました。そこで最終案では特注の顔料を混ぜて焼いたブロックを積み上げて壁をつくることを思いついたのです。ブロックは焼いただけのものと、焼いた後に工場ですりつぶしたものの2種類を用意しました。これら2種類を雨戸と組み合わせ、ポーターパターンで使っています。また、壁ありきの建築にしたいと考えていました。床スラブと大きな開口の建物では、周辺の状況に中

でも、施主の言葉をそのまま実現するのはありません。何が言いたいかを知るために行います。——プロデューサーには、建築家の通訳をする役割もありますね。

織山 結局は、施主に建物のよさをわかっていただきたいので、ストレートに伝えたいと思っています。そして、マーケティングではよくいわれることですが、一般の人は見たことのないものはイメージできません。それができるのはプロですから、居心地のよい空間をきちんと提案して見せていくことで、経

験値を上げていかなければいけないと思っています。

になることもあります。壁主体のシンプルなボックスでありながらブリーツ空間のような場所があれば、内部が自由設計であっても、社会とのつながりは得られると思います。結局、インフィル設計は2戸を担当しています。アーキネットでは、建て主に好みのスタイルについてアンケートをとっておられましたね。いつもされているのですか。

織山 アンケートは、会話のきっかけになると思ってとっています。「白いインテリアがいい」というときには、その背景を見きわめればいい。建て主は、空間の要素を言葉でうまく表現できないので、何か切り口がほしいのですね。商品開発



南東道路側から見た
全景。左右に建物が
迫る敷地の右手に空
地をとり、密集地に
あって奥行きをつく
り出している。

「石神井プリーツ」

建築概要

所在地	東京都練馬区石神井町
主要用途	長屋
事業主	石神井プリーツ建設組合
設計 監理	塚田眞樹子/塚田眞樹子建築設計
企画	アーキネット
施工	池田建設
敷地面積	244.53㎡
建築面積	144.88㎡
延床面積	538.52㎡
居室面積	67.69~96.96㎡
建ぺい率	59.24%(許容:60%)
容積率	149.42%(許容:160%)
構造	鉄筋コンクリート組積造+ 鉄筋コンクリート造(地下)
規模	地下1階、地上3階
戸数	6戸
設計期間	2007年4月~2009年7月
施工期間	2009年8月~2010年8月

おもな外部仕上げ

屋根	FRP防水 断熱材 コンクリート金ゴテ押さえ 熱交換塗料
外壁	型枠コンクリートブロック
開口部	アルミサッシ スチール製ドア
外構	タイル

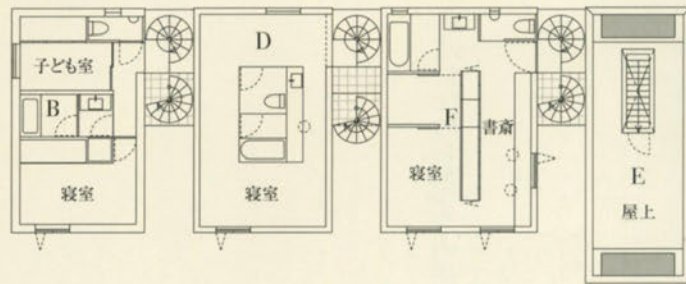
おもな内部仕上げ

居室(F住戸)	床/タイルt=9mm ラーフローリングt=15mm オスモカラー塗装 壁/クリア塗装
天井	天井/モルタル補修 撥水剤吹付け

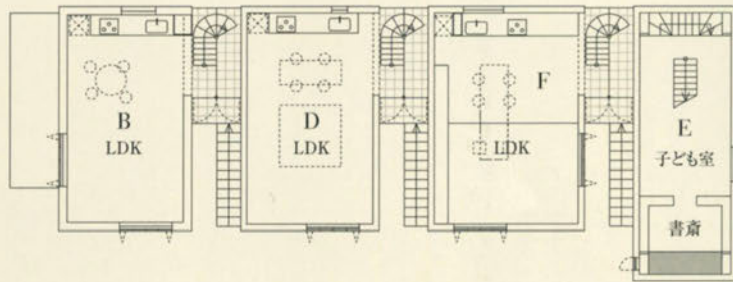
駐車場	2台
自転車駐輪	2台
バイク駐輪	1台

平面図

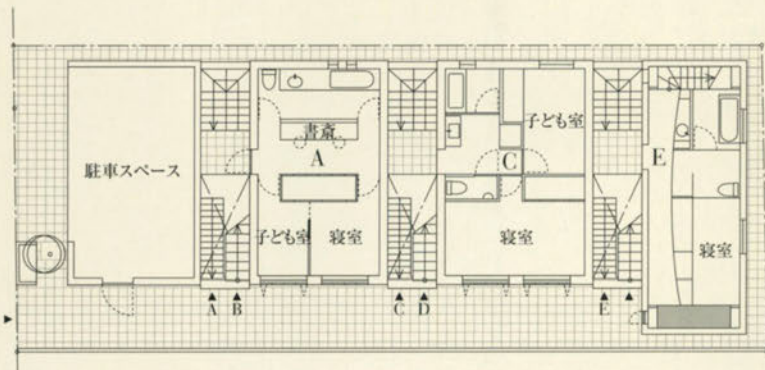
0 2 4m



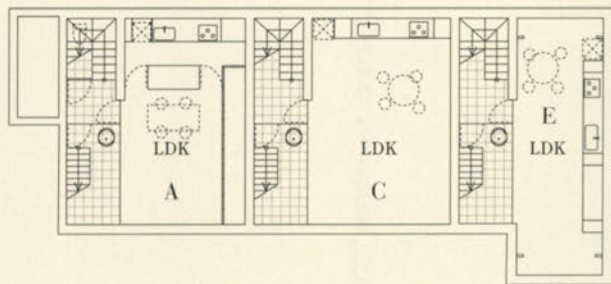
3F



2F



1F



BF



1/250

まとめ/大山直美 写真/山下恒徳

「シヨン」に建築家を提案



Special Feature
Coordinators
of
Architectural
Expertise

Case Study

Hirao Shinichi



Iida Yoshihiko

3

ケーススタディ 3

切妻屋根に大小さまざまな出窓が付いた外観は集合住宅には見えない。平生進一さん(右)と飯田善彦さん。

「小規模分譲マン

定番デザインからの脱却



Coordinator / Hirao Shinichi

飯田さんを提案した人

平生進一

ひらお しんいち/メックecoライフ取締役社長。1948年東京都生まれ。72年東京工業大学工学部社会工学科卒業。同年三菱地所入社。ニュータウンやリゾート開発、マンション分譲などの事業を手がける。2008年同社グループメックecoライフを設立、取締役社長に就任。新規マンション計画において、環境に配慮したデザインや再生可能なエネルギーの導入についての研究、既存マンションのリノベーション、リフォーム、リサイクルサービスの向上などの提案を行っている。

—— 今回、三菱地所が飯田善彦さんを起用して、たった9戸の分譲マンションをつくったと聞いて驚きました。どうも仕掛け人の平生さんという人がただ者ではないらしいとわかり(笑)、さっそく押しかけた次第です。まずは平生さんの経歴をお聞かせください。

平生進 大学では社会工学科で都市計画を学びました。卒業後、三菱地所に入り、最初の10年はニュータウン、次の10年はリゾートの開発に携わり、次がマンションです。当初は5人でスタートした商品企画室で、品質管理の仕組みをつくり上げてきました。

—— 商品企画室長時代、部署内でマンションのことが気に食わないという点を挙げる活動をして、254も数え上げたそうですね。大手ディベロッパーの社員でそんな人は珍しいですよ。(笑)。

平生「マンションっておかしいよ。なんで玄関ドアの色が全部同じなんだ」とか、「表札もかっこ悪い」と僕が言い出したら、そんなこと言うなら僕だって私だってということで、それが254にもなっちゃった(笑)。そのときの考え方は今度のプロジェクトにも生かされています。今はその商品企画室も150人の商品企画部になりましたが、僕は2009年に卒業して、三菱地所が別会社として設立した今の会社の社長に就任し、また少数部隊から再出発したところですよ。メックecoライフというのは、三菱

地所グループにおける環境に配慮した住宅づくりを推進する会社です。

—— その新会社がエコマンションとして開発したのが、この「パークハウス吉祥寺OIKOS(オikos)」というわけですね。プロジェクトが始まったきっかけは？

平生 じつは最初は、エコの設備を既存の建物に張り付ける程度でいいかと考えていたんですが、ある

人にその話をしたら、「三菱地所がそんな半端な仕事をしたらいかん！」と真顔で怒られまして(笑)。それをきっかけに、考えはじめた矢先に飯田さんと出会ったんです。いろいろ話すうちに、せっかくならば設備を満載するのではなく、こいつはちよつと今までのマンションとは違うなという新しい箱の中に詰めまないと、誰にも見向きされないかもしれない、と思うに至ったわけです。

手を動かすのが好きで 意気投合

—— 飯田さんとはどういうご縁で知り合ったんですか。

平生 僕が商品企画部長だった時代にチーム内でかかわっていた、あるマンションの監修を飯田さんがなさっていたんです。

飯田善彦 梁がなく、壁柱で支えるすっきりした構造の建物でした。ただ、三菱地所の担当者たちは、これなら売れるだろうという高級マンションの設えをほとんど足していくため、せっかくの構造が生かし切れませんでした。僕は監修役だから設計はできず、これでは新しいプラ



Room no. 202

写真上/右手ダイニングキッチン。中央のボックス左右に水まわり。右/干し物などができるテラス。



会社概要 株メックecoライフ

所在地/東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル

取締役社長/平生進一

電話/03-5222-9671

URL/www.mececolife.co.jp

設立/2008年12月1日

資本金/10,000,000円

ンニングには至らないと痛感しましたね。ところが今回は、今までは違うマンションをつくりたい、その設計・監理まで任せてくれるという。ずっとやりたいと思っていたことができる、非常に興味をもちました。

——平生さんは飯田さんに会って、どんな印象でしたか。

平生 心が通じたのは、お互いに手を動かすのが好きだという話をしてからです。僕は自称「日曜大工、土曜船大工」で(笑)、古い船を買ってリストアしたり、家でウッドデッキや棚をつくりたりしているんですが、大工仕事というのは苛酷な作業で、天井板一枚張るのに釘を2〜3本打ったらもう腕がだるくなる。そんな苦勞も知らず、線一本引くだけで直せというような建築家は大嫌いなんですよ。現場の労力を理解し、材料を無駄にせず、新しい合理的な思想を考え抜き、表面は水が流れるがごとくみごとにつくり切ってこそプロだろう、と。飯田さんはまさにそういう人だと感じました。

飯田 僕がちょうど、琵琶湖のほとりに自分でつくっていた小屋の話をしたのが効いたかもしれませぬ(笑)。

——『新建築』2010年4月号で発表した「半居」ですね。

平生 飯田さんが、「世の中に流通している材木には3mと4mがあるんですよ。それを組み合わせさせて使



Park House Kichijoji OIKOS

柱・梁・段差のないRC打放しの空間。明確な区分けをせず、引き戸でゆるやかに仕切る。手前右が玄関。

至るまで、プロジェクトのメンバーと週1回集まって、図面や模型をつくりながら、いろんな話を数え切れないほどしましたね。駐車場はなくして自転車置き場をつくろうとか、ロビーにかっこよく自転車を飾ったらかどうかとか。ひとつの共有するイメージを確定していこうという時間で、設計というより「運動」みたいな感じでしょうか(笑)。

——プレゼンテーションは気に入ってもらえましたか？

飯田 3つのプランをプレゼンしたんです。うち2案は片廊下など、三菱地所が本来つくるものに近づけたプランでしたが、残りの1案としてすべり込ませたのが今の原形です。ここは斜線制限もきびしく周辺の家々も迫っているから、真ん中に建物をつくってまわりをあげ、バラバラに各戸があるというよりはひとつの家みたくに集合させたプランを考えました。平生さんは遅れて来られたんですが、どうですか？と聞いたら即、「これだろう」と今の案を指しました。

平生 直感的に、圧倒的に、これだと思いましたね。だいたい、みんな、これじゃないかという顔をしているんですよ(笑)。サラリーマンは失敗を恐れるから、自分の考えはなかなか言わないんです。

うと余裕のある階高が実現できるから、そういうなるべく無駄が出ない構造で、外皮は半透明な素材で取り囲んだ、井桁みたいな小屋をつくりたい」とおっしゃった。そのとき、プリミティブなものづくりというのは、まず材料があつて、それをどう生かして空間をつくるかということなんだとモヤッと感じた。この建築家はいいなと(笑)。

飯田 最初にそんな話をして、それから基本設計に



Architect / Iida Yoshihiko

Special Feature / Coordinators of Architectural Expertise Case Study 3

建築家

飯田善彦

いいだ よしひこ／横浜国立大学大学院建築都市スクール(Y-GSA)教授。1950年埼玉県生まれ。73年横浜国立大学工学部建築学科卒業。同年沖縄国際海洋博覧会 船クラスター施設展示設計企業体に参加。74〜80年計画設計工房、80〜86年元倉眞琴と一級建築士事務所建築計画共同設立。86年飯田建築工房一級建築士事務所に改組、現代に至る。おもな作品=「葉山の家」(94)、「蓼科斜楼」(96)、「川上村林業総合センター」(97 日本建築学会賞)、「名古屋大学野依記念館 野依記念物質科学研究館 学術交流館」(05)、「横須賀市宮鴨居ハイム」(09)などがある。

URL:www.iida-arc.com/



2～3階メゾネット
タイプの301。写真
右/切妻屋根の形状
をそのまま生かした
リビング。中央家具
の後ろが2階へ下り
る階段。左上/キッ
チンからリビングを
見る。



吹抜け階段。中央に
洗面、通路左側にバ
スルーム。

Room no.

301



右下/洗面の奥に、
上部がすりガラスで
明るい洗濯機置場。
左奥はテラスにつな
がる。左中/テラス
側に窓のあるバスル
ーム。左下/トイレ
は遮音扉。さらに給
気用ダクトから音が
居室にもれないよう
に「サイレントダク
ト」という騒音防止
装置を採用し、生活
音に配慮している。



Room no. **302**

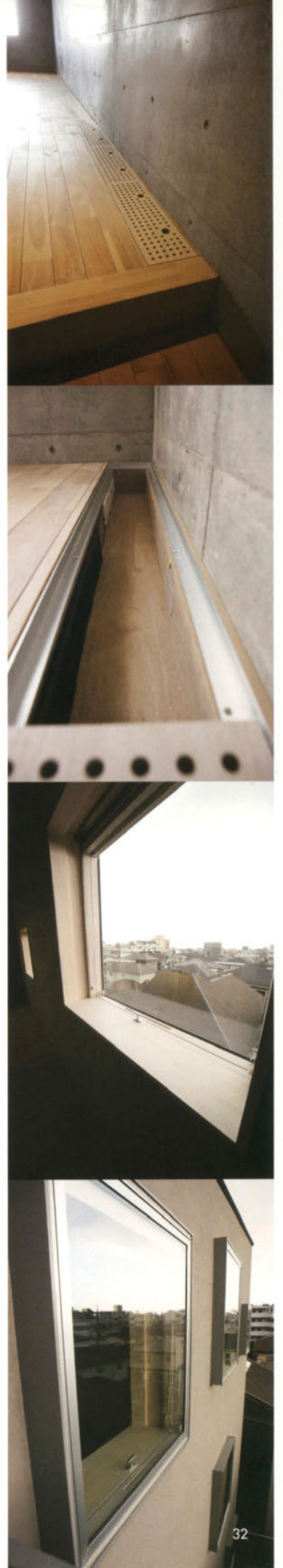


北側斜線の影響を受け、奥に低くなるリビング・ステップ上のスペースはエレベータのオーバーヘッド上を利用した。

Room no. **304**



ロフトと天窗のある304。ロフト下は手前からキッチン 収納 洗面・バス トイレ。



飯田 でも、今回のメンバーはみな、このプロジェクトをおもしろがる人たちでしたよね。

平生 そう、誰でもおもしろがるはずなんですよ。僕はいつも、「住宅関係の仕事は公私混同しないと成り立たない」と言っています。住宅に関しては誰でも住むプロなんだから、僕はこれが好きとか、女房も学生時代の仲間もみんなこう言ってるよ、というようなことを、なぜ仕事の場で言わないのか、とね。

いい住まいとは何か つねに検証していく

—— 環境配慮へのおもな取り組みには、どんなものがありますか。

平生 外断熱工法や木製サッシ、太陽熱利用給湯システムなどいろいろありますが、一番画期的なのは床下チャンパー型の空調システムかな。床暖房のように床を直接あたためるのではなく、天井裏の室内機であたためたり冷やしたりした空気を床下空間に吹き込み、床から室内に放出するので、環境負荷を抑えつつ家じゅう快適な環境が保ちやすいんです。分譲マンションでは初採用で、将来は標準装備にし

ていきたいと思っています。

—— 今後この種のプロジェクトは続いていくでしょうか。

平生 僕が決定する立場にないのでなんとも言えませんが、最終的には消費者が決めることだと思います。政治をよくするには政治家をよくすることも必要ですが、じつは有権者の問題だということと同じで、こういうマンションじゃないと買いたくないという声が上がれば、やはり建築家と一緒につくったマンションにしようとなりますから。それと、もうひとつ言えるのは、建築家を生かすなら、マンションづくりの文法を逸脱しない限り、建築家のよさは出ないということですね。

—— マンションづくりの文法とは？

平生 第1の鉄則は、南向きバルコニーに面して掃き出しサッシが並んでいること。これをやっている限り、建築家の出番はほとんどない。これは僕のニュータウン時代の原点ですが、戸建ては周囲になるべく壁がなく柱のあいだにサッシがはまっているような家のほうが売れるんですよ。入った瞬間に奥さんが「わー、明るいわー」と言うから(笑)。明るいわーの裏側には、寒いぞ、雨が吹き込むぞ、窓の掃除が大変だぞ、ソファがうまく置ける場所やボス

ターを張る壁がないぞ、など、問題がいっぱいあると僕は思うんだけど……。ここでは南にアパートがあるから部屋ごとに窓の配置や大きさを変え、腰かけたりモノを飾ったりと窓辺の暮らしを楽しめるよう、腰高窓にしました。1回文法を忘れてみよう、それには消費者のバックアップも必要だし、若干のこわさもあるし、若干の出世の妨げにもなるかもしれないが(笑)、賭けてみようよ、ということですね。

—— 消費者がどう受けとめるかはこれからですね。飯田 建物ができてから販売するというのも初めての試みですからね。建築家を生かすということに関していえば、ディベロッパーは建築家をものすごく使いにくい人間だと思っているわけです。あの人たちに頼むと何されるかわからないとか、お金が高くなるとか。インテリアデザイナーは彼らの商品を増強してくれるから、わりあい起用されることが多いんですが、建築家はそうはいかない。相手の懐に入

って仕事をするとというか、新しい考え方を考えることに挑戦しない限り、まったく影響力はないんです。今回は平生さんのような方に巡り会ったおかげで、こんな新しいことにチャレンジできて、僕は非常におもしろかったけれど、これをおもしろがるか否かは、建築家のありようを問うところがありますね。

写真上・中上/空気の吹出し口。このマンションでは輻射熱を利用した空調を採用。床下に暖かい空気、冷たい空気を流して住戸内全体を空調する。中下・下/壁厚200mmのさらに外側に設置された木枠ペアガラスの出窓。



「パークハウス吉祥寺 OIKOS」

建築概要

所在地	東京都武蔵野市中町
主要用途	集合住宅
事業主	三菱地所レジデンス
設計 監理	飯田善彦／飯田善彦建築工房＋ 三菱地所ホーム
事業企画	平生進一／メックecoライフ
施工	前田建設工業東京支店
敷地面積	361.29㎡
建築面積	186.07㎡
延床面積	703.24㎡
建ぺい率	51.50%(許容:64.04%)
容積率	168.08%(許容:168.09%)
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上4階
戸数	9戸(非分譲住戸2戸を含む)
間取り	1R 1LDK
専有面積	56.78～72.67㎡
自転車駐輪	18台
設計期間	2008年9月～2009年10月
施工期間	2009年11月～2010年10月

おもな外部仕上げ

屋根	フッ素ガルバリウム鋼板t=0.6mm
外壁	透湿外断熱工法
開口部	スマートエコウィンドウ
外構	セラガンパツ シラカシ シマトネリコ アイビー プリベット

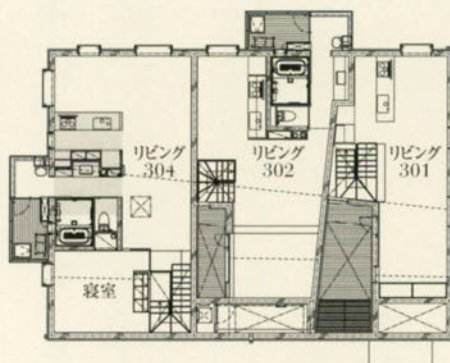
おもな内部仕上げ

専有部	床／乾式二重床床先行工法
一般部	床／カバザクラt=15mm
	玄関／磁器質タイルt=11.7mm
	壁 天井／打放しコンクリート
	水まわり／カバ合板t=5.5mm
共用部	
一般部	床／タイルカーペットt=9mm
	エントランス／磁器質タイルt=9mm
	壁／打放しコンクリート、 一部カバ合板t=5.5mm
	天井／打放しコンクリート

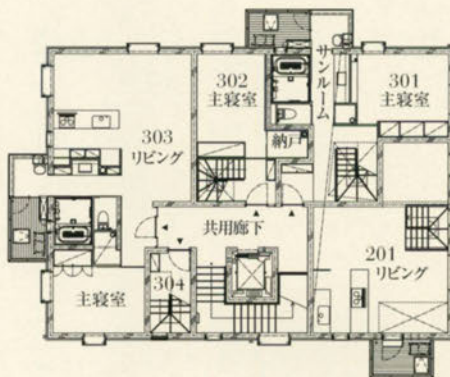
平面図

0 2 4m

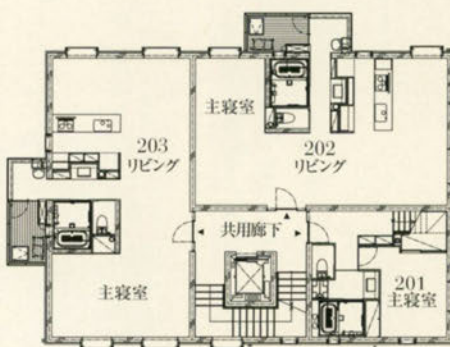
4F



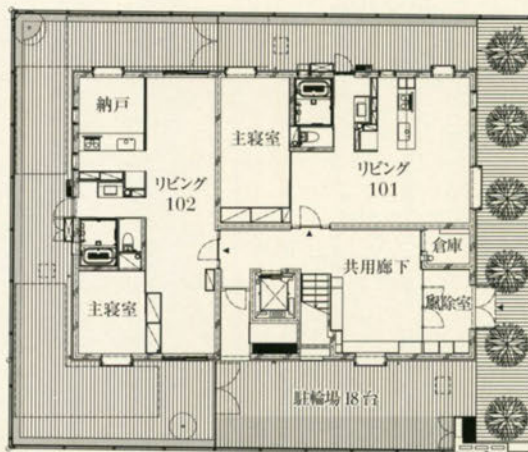
3F



2F



1F



1/300

「賃貸マンション」に建築家を提案



Case Study

4

blocco庭側通路から
北棟をのぞむ。右が
長田直之さん、左が
高木栄一さん。

ケーススタディ 4

あつてあたりまえ。「賃貸マンション」に建築家の知恵



長田さんを提案した人

高木栄一

たかぎ えいいち/タカギプランニングオフィス代表取締役。1963年山形県生まれ。87年日本大学文理学部体育学科卒業。88～97年アルファープランナー。97年タカギプランニングオフィス設立。おもな企画作品=「puzzle」(99 設計:野口信彦)、「a cube」(2000 設計:鈴木孝紀)、「Vague」(01・設計:北山恒)、「platform」(02 設計 千葉学)、「ilusa」(02 設計 谷内田章夫)、「Hi-ROOMS明大前」(06 設計:若松均)、「FLAMP」(07 設計:谷内田章夫)。今後竣工予定作品として、「阿佐ヶ谷南2丁目プロジェクト」(設計:谷内田章夫)、「呑川プロジェクト」(ともに設計:若松均)、「駒沢プロジェクト」(設計:設計組織ADH)など。

—— 高木さんは建築家を起用して賃貸マンションをプロデュースするというビジネスを始めた人としては最も早いと思いますが、今までに開発した総戸数はどのくらいですか。

高木栄一 戸数では10000～11000、棟数は約120棟です。

—— 確か、最初は不動産会社勤務で、その後、独立して今のタカギプランニングオフィス(以下、TPOと略)を設立されたんですね。

高木 そうです。サラリーマン時代に、北山恒さん、木下道郎さん、谷内田章夫さんが3人で設計事務所をやっていた頃の集合住宅を見て、仕事を頼みに行ったのが最初です。

—— なぜ建築家を起用しようと思ったのですか。

高木 人口の減少などで集合住宅が供給過剰になるのはわかっていました。でも賃貸集合住宅の家賃収入は魅力的な所得だから、絶対増えると思っていました。となると競争が激化するの当然で、そのとき勝負できる材料はデザインしかないだろうな。だから、合理的にうまくデザインできる建築家というのがキーワードで、そこが長けていたのがあの3人だったんです。あまり造形主義でなく効率主義というか……。

—— つまり経済効率がいいものをつくれる人ということですか。

高木 はい、やはりバランスですね、経済とデザイン



写真右/東側全景。周辺環境のスケールを意識した凸凹のある特徴的な外観。道路に面しているのが北棟、左奥に南棟が見える。左ページ/懐の深いエントランス。

ンとの。

—— これまでに何人ぐらいの建築家と仕事をしましたか。

高木 30～40人ぐらいですかね。

—— どうやって建築家を探すのですか。

高木 最初の頃から建築雑誌を見ていました。

—— でも高木さんは建築が専門ではないですよね。高木 はい、体育会系です。不動産業界は体育会系が多くて、気合いと根性だけで24時間営業みたいな世界です(笑)。建築雑誌を見はじめたのはサラリーマン時代で、あ、こういう世界があるんだとハマって、けっこう調べましたね。今は雑誌を見れば、その人が集合住宅の設計に向いているか向いていないかはだいたいわかります。

建築家決定の決め手はプランと人柄

—— 長田直之さんとは、どうやって知り合われたのですか。

高木 知り合いが、大阪におもしろい建築家がいるから紹介すると言って、うちの事務所に連れてきたんですよ。まだ師匠の安藤忠雄色が強い頃ですね(笑)。その後、1999年から計6回、「TPOレコ

会社概要 株式会社タカギプランニングオフィス

所在地/東京都港区赤坂3-4-3 赤坂マカベビル8階

代表取締役/高木栄一

電話/03-3560-1861代 URL/www.t-p-o.com

設立/1997年7月1日 資本金/10,000,000円

業務内容/不動産の企画 仲介 売買 斡旋 賃貸管理 サブリース、およびコンサルティング

建築・インテリアに関する企画・設計・監理、およびコンサルティング

従業員数/20名

メンデーション」という賃貸マンションの設計コンペを主催した時期があるんですが、その1回目に長田さんも招待されました。クライアントがいて、数名のなかから勝ち取った建築家が設計するという実施コンペです。長田さんの案は合理的で計算を解くようにうまくできたプランだったのですが、オーナーの住居が1階にあったのでいやがられて、残念ながら選外でした。

長田直之 隣が公園で、オーナーの奥さんが自宅で事務所を開きたいという話もあったので、1階しかないだろうと思いましたが、今考えると、僕も若かったですね。賃貸マンションのオーナーは最上階に住みたがるものだといいことを、後になって知りました(笑)。

高木 でも、そのときうまくいった印象があるから、すぐ別の仕事を頼みました。芦屋の「CUR」(2003)というワンルームマンションです。

長田 各部屋が「くの字」に折れ曲がっているんです。

高木 そう、手前から奥を見ると視界が切れて、見えない部分ができるのがいい。僕は意外と、プランをずうっと覚えているんです。

——この「blocco」も同じコンペで選ばれたものなんですね。

高木 はい、03年の5回目です。オーナーはここでお父さまの代から経営していたガソリンスタンドを



閉めてマンションを建てようという計画中で、相談を受けていました。ちょうどコンペの時期とタイミングが合ったので、やってみましょうということになったのです。

——長田さんの案が選ばれた決め手は？

高木 審査員もオーナーも評価した最大のポイントが、上層階に採用されている独特の「十字プラン」(41ページ4階平面図参照)というのがフレキシブルに使えるいいプランで、マーケットでは強いだろうという点です。ただ外壁量が多いから建設費がかさむのではという心配はありましたが、ここはじつは、全戸床暖房付きで坪単価70万円できていますよ。

——それは工務店の努力ではなく、建築家のおかげ？(笑)

高木 設計のおかげでしょう。そのへんも長田さんほうまいんです。

長田 コストコントロールはうまいです、自信あります(笑)。

高木 それから、オーナーは街並みからあまり浮かないデザインが気に入っていましたし、人柄も大きいんじゃないでしょうか。オーナーと建築家の相性はけっこう大事で、いつもそこはよく見きわめますが、ここでは打ち合わせも終始楽しく進められましたから。

空間に、変化と バリエーションがある プランは成約率が高い

——以前、高木さんに話を聞いたとき、賃貸集合住宅は1階が問題で、下に入居者が入れれば上の階も入る、それほど1階のプロテクトのしかたは難しいとおっしゃっていました。bloccoではまず外側に中が丸見えにならない2枚重ねのエキスパンドメタルの壁があり、その内側にまた玄関扉があるという一重のプロテクトがかかっています、しかも入り口がオープンエア。そのへんがうまくできていますね。

長田 ただ、あのエキスパンドメタルの壁は本当に必要だったかなと反省したことは事実です。表面りは交通量が多いから、まったくなくさかどうかはともかく、もう少し開いた状態でプライバシーを守る



建築家

長田直之

ながた なおゆき / 1968年愛知県生まれ。90年福井大学工学部建築学科卒業。90~94年安藤忠雄建築研究所。94年ICU共同設立。2002~03年文化庁新進芸術家海外留学制度研修によりフィレンツェ大学留学。05年ICU一級建築士事務所に改組、東京オフィス開設。08年より奈良女子大学住環境学科准教授就任。おもな作品 = 「CONTE」(10)、「oc」(10)、「CUR」(03)、「Ig」(99) など。
URL: www.icu-plus.com/

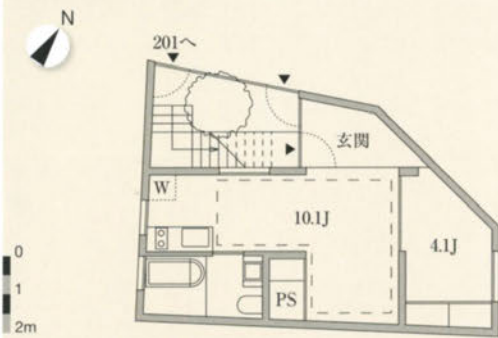
1階101室内。梁でゆるやかに仕切られた一室空間。引き戸で仕切れることもできる。右手のスリットから光が漏れる。



1/200

blocco

Room no. **101**



写真右/キッチンから室内を見る。右手にバスルーム。下右/玄関方向を見る。下左/上下階で共有のコートヤード。外部とは2枚重ねのエキスバンドメタルの壁と扉で、視線は遮り、光と風を通す。



玄関から見た103室内。南は中庭に面する。右引き戸の中が水まわり。

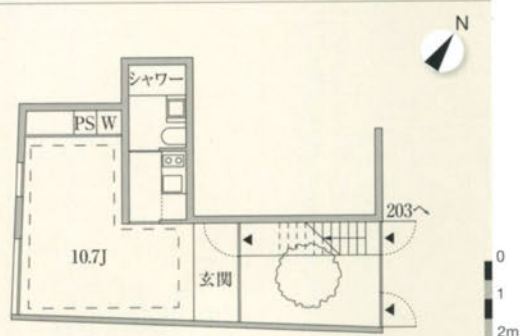


Room no. **103**

1/200



写真中右/シャワールーム。中左/玄関、コートヤード越しに街を見る。下右/中からは外がよく見える。左の扉と階段は203へのアプローチ。下中/外から見たところ。下左/コートヤードから室内を見る。



Special Feature / Coordinators of Architectural Expertise **Case Study 4**



方法があってもよかったと思いますね。

—— 南側はいい感じですね。あちらが玄関でもよかったですのでは？

長田 まあ、道路付けや駅からのアクセスを考えると北側が入り口にならざるをえないんですが、いつも建物の裏側をつくりたくない、すべての面がファサードだと考えて設計したいと思っています。

—— 拝見したのは1階ですが、3階から上はまたプランががらっと違っていきますね。

長田 はい、先ほど話に出た「十字プラン」です。つねづね、ワンルームをフリーに使えると同時に、同じ場所に違う空間がセットされているようなものをつくりたいと考えていますが、十字にすることで外部空間があいだに入ってきて、窓もたくさん設けられ、まわりの風景がちらちら見えるものがつくれるという意図もありました。

—— この小ささで3つの場ができていて、見通すと空間が積層して距離感が出ます。境目は、梁が上から下りてきていますね。

長田 はい、フラットに空間をつなぐのではなく、分節がありつつ、つながっている状態をつくり出すようにしています。テキストチャーを替えているのもそのためで、建具で仕切ることもできます。

高木 僕はやはり成約率がいつも頭にあるんですが、こういう空間に変化があってパリエーションが豊富なプランだと、ホテル選びと同じで、選ぶ側は楽しい。昔の安藤色が強かった頃の長田さんだと、もつと垂直水平な感じだったんですが、イタリアに留学して帰ってきてから、うまさを変化しましたよね(笑)。

建築家をもつ知恵を買う

—— 高木さんの仕事は、後はどれだけ賃料をとれるかですね。

高木 高くとろうということではなく、いかに安定



右手のショールームは、1階エントランスを入ったガラスームと階段。事務所

してとれるかが大事です。地域の相場をはるかに上まわるとするのは無理ですから。

長田 そこが高木さんの斬新なところですよ。建築家をプロモートして集合住宅を建てようとする人はたいていデザインをつければ、その付加価値で家賃が高くとれるだろうと考えるのに対して、そこは

まったくゼロですから。そういう意味では、僕たちはなんで呼ばれているのかよくわからない(笑)。

—— デザインはタダだということでしょうか。

長田 というより、あってあたりまえで、建築家のネームバリューで家賃が高くとれるものではないというの徹底しています。

—— こういう仕事が将来行き詰まるといった不安はないですか。

高木 いずれはあるかもしれませんが、昭和30年代にできた分譲マンションで解体された建物はまだ1棟もないんです。スクラップ・アンド・ビルドは悪いと言われけど、ひどいものは建て替えたほうがいいし、そういう仕事はどんどん増えるんじゃないでしょうか。

—— 高木さんはデザインというよりは、建築家をもつ知恵を買っている気がしますね。建築家の起用のしかたに変化はありますか。

高木 あんまり変わってないですね。だいたい向いている人にしか頼みませんから、任せた後はほとんど何も言いませんし。

長田 でも、プレッシャーは抜群にあります(笑)。メディアの注目度も高く、仲間内の建築家もみな意識して見えていますから、スマッシュヒットを打たなきゃと。TPOとかかわったことで集合住宅の世界で開花し、新しいプロトタイプを生み出した人は大勢いますが、谷内田さんの1・5層のアイデア(「tufft」(05)・「FLAMP」(07)など)にしても、若松均さんの「明大前の集合住宅」(08)の中庭付き長屋にしても、建築家が1対1でクライアントを説得するのはかなりしんどいと思う。建築家の知恵が高木さんを通じてモノに変わり、世の中に出ている感じがします。将来、集合住宅のプランの歴史を誰かがまとめようとしたら、きっとTPOにかなりの点数の図面を借りに行くことになるんじゃないでしょうか。



「blocco」

建築概要

所在地	東京都北区
主要用途	集合住宅
設計 監理	長田直之/ICU
企画	タカギプランニングオフィス
施工	辰
敷地面積	624.89㎡
建築面積	370.36㎡
延床面積	1,432.20㎡
建ぺい率	59.23%(許容:75.36%)
容積率	206.40%(許容:276.78%)
構造	鉄筋コンクリート壁式構造
規模	地上5階
戸数	28戸
設計期間	2004年1月~12月
施工期間	2004年12月~2006年1月

おもな外部仕上げ

屋根	アスファルト防水 (露出断熱工法 保護断熱工法)
外壁	ワランベニヤ型枠打放し 撥水材塗布、 一部左官補修のうえAEP塗装
開口部	アルミサッシ スチールサッシ
外構	シマトネリコ ソヨゴ シャラ ヤマボウシ フッキソウ ゴシキナンテン

おもな内部仕上げ

居室	床/フローリングt=12mm 壁/PBt=12.5mmのうえヒル石塗り 天井/コンクリート打放し左官補修の うえヒル石塗り
共用部	床/モルタルのうえ防塵塗装 壁/ラワンベニヤ型枠打放し 撥水材塗布 天井/ラワンベニヤ型枠打放し

賃貸条件

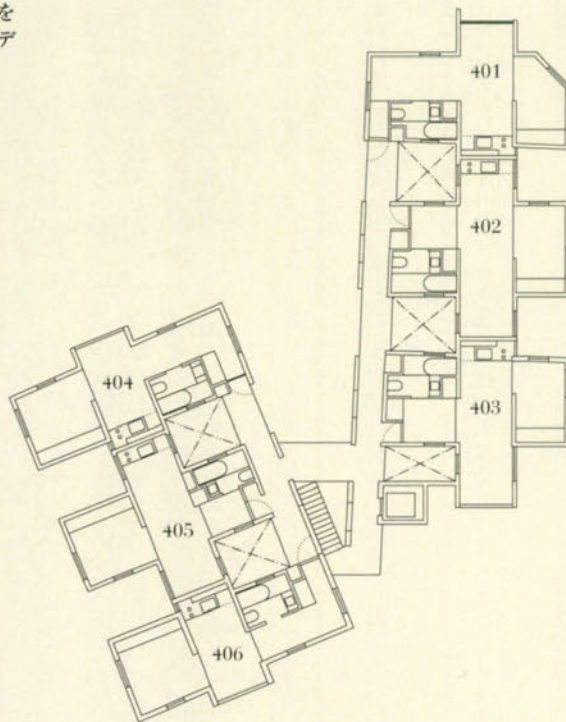
交通	東京メトロ南北線「王子神谷駅」徒歩6分 JR京浜東北線「王子駅」徒歩10分 東京メトロ南北線「王子駅」徒歩10分
賃貸面積	31.28~50.27㎡
賃料	94,000~128,000円
駐車場	4台
自転車駐輪	21台
バイク駐輪	3台

平面図

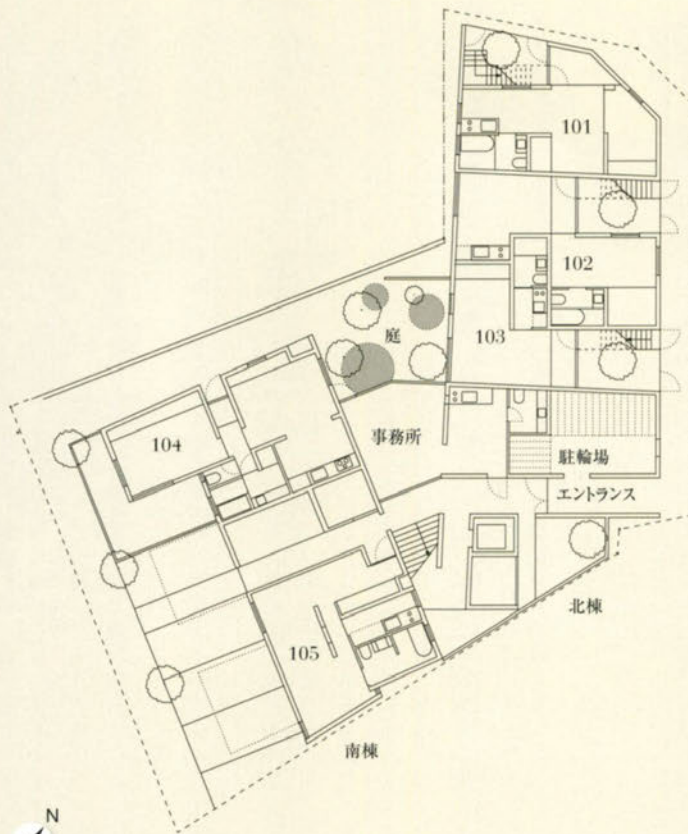
0 2 4m

南側から見た南棟。
上階の十字プランを
受けた凹凸のあるデ
ザイン。

4F



1F



1/350

「冬の蜩」……歌の曲名みたいな情景に出会った。

スリランカ（*1）の西海岸、コロンボとゴールのあいだにベントータという町があり、そこからちょっと内陸に入ったところにその「楽園」がある。

あまり知られていないが、ジェフリー・パウ（*2）というリゾートホテル設計の神様ともいわれる人の作品をいつか見たいと思っていたのだが、気のおけない仲間たちとその機会を得た。

パウは2003年に亡くなったが、珠玉のような建築をいくつも遺している。

若いときに湖に突き出した半島状の広大なゴム園を入手し、以後50年にわたって手を入れつづけた。「楽園」はパウ終焉の地となり、丘で茶毘に付され遺灰が撒かれた。そのルヌガンガが季節営業だが財団の手でホテルになっているとあつては、どうしても泊まらなくてはいけない。

熱帯林に囲まれたなだらかな緑の丘が、南北ふたつの静かな水面と低地の上にある。現実の世界から隔絶された苑内には、昔の建物を改装したメイン・ハウスを中心に、ゲート・ハウス、グラス・ルーム、ガーデン・ハウス、アート・ギャラリー、シナモン・ヒル・ハウスなどのヴィラというか邸宅風の建物が木陰に点在、すべて意匠が異なりたいへんおもしろい。古いものがたくさんありはめられているが、斬新で大きな白黒市松の床があつたり、北欧の照明があつたりして、たぐさんのコレクションがインテリアデザインに微妙に調和している。そして決して古くなく



メイン ハウスから湖を望む。

い。趣向にあふれた個人邸を垣間見るようだが、ちらりと独特の趣味も。同行したデザイナーのIさんは「美しき退廃」と評した。なるほど。広大なランドスケープには、彫像やブルメリアやジャック・フルーツの巨木が絶妙に配され、湖に近い低地には水田や睡蓮の池が広がっている。つまりどこを切り取っても「絵」になる。

自分の「楽園」に好きなように手を入れつづけ、そこで最期を迎えて土に還る……最高の贅沢ではないか。そのシナモン・ヒル・ハウスの部屋に2泊した。メイン・ハウスから最も離れた緑の丘の奥。ペランダから入る。ここがいい。室内にはガラスなどなく、雨戸を開けると外気。高い天井、蠟燭の灯。なんとバスルームには立ち木が……というより中庭にバスタブが置いてあり、外を見たり、星を見たりで野趣あふれることこのうえない。ベッドルーム側のデスクからバスが見える窓があつたりもするが。

夜、パウも休んだであろうベッドに横たわる。フクロウの鳴き声。ヤマアラシやジャコウネコも歩きまわっているにちがいない。そのときである。ベッドのチュール（*3）の外に蜩が舞ったのだ。夢のようだった。はかなく点滅する光の動きを追っていると、なんとなくパウさんが近くにいてこちらを見ているような気がした。日本は寒い1月であつた。

バスは中庭にある



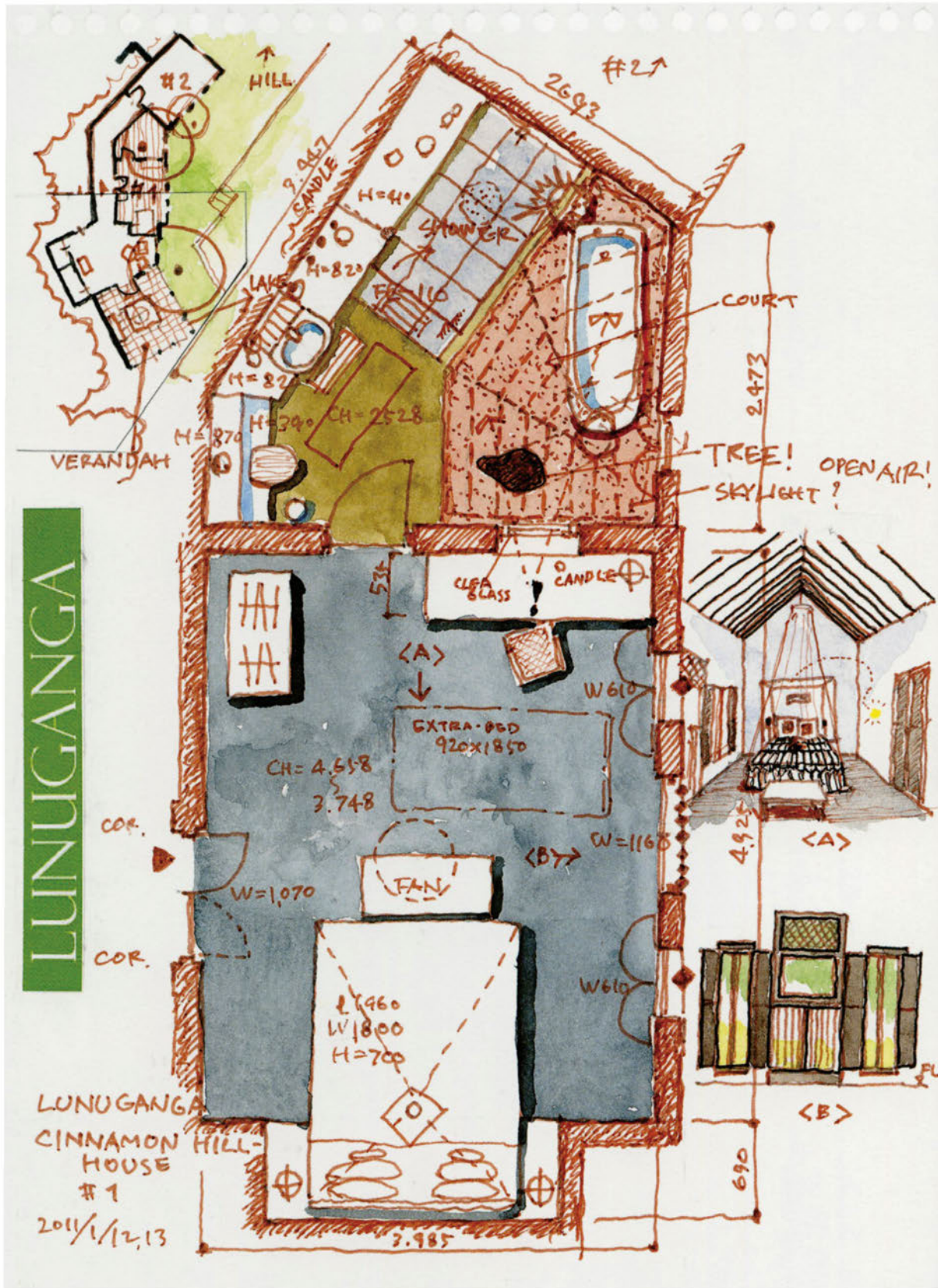
立ち木のある中庭にバスタブが置かれている。

うら かずや／建築家 インテリアデザイナー。1947年北海道生まれ。70年東京芸術大学美術学部工芸科卒業。72年同大学大学院修士課程修了。同年日建設計入社。99年日建スペースデザイン代表取締役。おもな作品＝「ロテル ド ロテル」(88)、「ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル」(91)、「飯綱山荘」(91)、「ホテルモリノ新百合丘」(97)、「メディアージュ」(2000)。著書に「旅はゲストルーム」(東京書籍 光文社)がある。

*1/Democratic Socialist Republic of Sri Lanka スリランカ民主社会主義共和国。インド亜大陸の南東にある涙型の島国。面積は北海道の約80%。人口約2045万人。以前はセイロンといた。紅茶、宝石などを産する。ポルトガル、オランダ、イギリスなどに統治された歴史があり、近年には内戦があつた。2004年のスマトラ沖大地震で津波の被害を受けている。コロンボとゴールは第1と第3の都会。

業後、ヨーロッパで数年暮らし、ケンブリッジ大学卒業後弁護士となる。いったん帰国した後、ロンドンのAAスクールに学び、38歳から建築活動。自己の感性を頼りにした革命的なリゾートホテルをつくり出す。2001年アガ カン建築賞。04年フランクフルトで回顧展。作品にはカンガラマ、ライトハウス、ホテル、ベントータ、ビーチ、ホテル、アファンガラ、ブルイウォーター、ホテルなどのリゾートホテルのほか、国会議事堂、シーマラカヤ寺院、自邸の33エムレーン、ルヌガンガ、大阪万国博セイロン館など。

*2/J. Geoffrey Bawa (1919-2003) スリランカの建築家。西欧人とスリランカのシンハラ人のあいだに生まれ、裕福な家庭に育ち、コロンボ大学卒業。スリランカの建築家。西欧人とスリランカのシンハラ人のあいだに生まれ、裕福な家庭に育ち、コロンボ大学卒業。スリランカの建築家。西欧人とスリランカのシンハラ人のあいだに生まれ、裕福な家庭に育ち、コロンボ大学卒業。



メイン ハウスから最も離れたシナモン ヒル ハウスの部屋。

Add/ Dedduwa Haburugala Bentota, Sri Lanka
 Tel/+94 (0) 344 287056 (open throughout the week)
 E-mail/ lunuganga@sltnet.lk
 URL/ www.lunuganga.com/
 Charge/ approx.219~389US\$ 11月~4月までホテル営業
 5月~10月は苑内見学可能 (1250Rs.)
 US\$ = 82.94円 (2011年3月30日現在)
 1Rs. = 0.75円 (2011年3月30日現在)

LUNUGANGA

ヨ
ー
ロ
ッ
パ
の



1 「遠藤邸」

Endo Takao × Fujimori Terunobu

設計 / 遠藤剛生

1 / 裏の庭からの全景。
2 / 道路側の全景。この
姿を遠藤剛生建築展で見
て、ぜひ実物を訪れなけ
れば、と思った。都市に
向かって閉じる姿勢を鮮
明に打ち出し、関西にお
ける自閉系住宅の始点と
なった。



路地のように

現代

住宅 第十六回

併走

文 / 藤森照信

Text by Fujimori Terumobu, Photographs by Akiyama Ryoji

写真 / 秋山亮二

連載

た

またま講演に出かけた
神戸芸術工科大学で、
教授の遠藤剛生展を開

いていたから 巡し、作品のひとつを見なければならぬと決めた。遠藤さんといえば関西の集合住宅の名手とばかり思っていたが、展覧会にはトンデモナイ個人住宅が展示されていたのだ。

で、遠藤剛生邸を訪れた。道の際から打放しコンクリートの壁が立ち上がり、1階の中央に開いた縦長の通路をちよつと入ると壁に当たる。正面から眺め、縦長の凹みは見えれどドアの見えない打放しの家。ドアは突きあたりの左手の壁に付いている。

平面図を見てもらえば、この家



3 4



3 / 玄関から2階への階段室 4 / 1階廊下 5 / 2階のブリッジ状廊下から光がダイニングにこぼれ落ちてくる。6 / 2階のブリッジから下のダイニングを見る。

の平面とファサードの関係はすぐわかる。間口が狭く奥行きが長すぎる短冊状の敷地条件を逆手にとり、平面の真ん中に廊下を貫き、その廊下を巧みに生かしてトップライトから光を採り込み、左右の部屋に振り分けて注ぐ。短冊敷地をあてがわれたら、誰だって真似したくなる原型的平面にちがいない。

できて36年になるのに、どうしてこれほどの住宅が建築界ではそう知られていないんだろう。というか、どうして私は知らなかったんだらう。わが情報の片寄りを認めねばなるまい。東京中心のうえ、遠藤邸が発表された今はなき「建築文化」誌との付き合いは薄かっ



6

た。加えてもうひとつ、36年前、現代建築に目を向けまいと決め、歴史研究に没頭していた。

コンクリートの壁のあいだをすり抜けて主室に出る。なんだこの空間は。こんな住宅っぽくない空間は、バラディオの名作「ヴィラ・ロトンダ」(1956年頃着工)以来だ。ロトンダは、外観のプロポーションに合わせるためか室内が犠牲にされ、見上げると首の痛くなるような内部空間になっている。細長い平面の上にコンクリートの壁が立ち上がり、部屋に窓はなく、光はてっぺんから降りてくる。おまけに、天井はポールの天井。プレ・ロマネスクの内部を打放しでつくればこうなるだらう。



5

いったいどうしてこんな日本離れしたことを。東孝光の「塔状住居(塔の家)」(1967)を発火点として、若い世代が打放し住宅に取り組み、時代を画すが、それらの無理矢理ぶりのなかでもこんなのは見たことがない。

少し前に急逝された夫人の遺影に線香を手向けた後、主室は冷えるので、奥のサンルームで設計の事情を本人にうかがった。

遠藤さんは、28歳で独立して事務所を開くが、その直前、1969年、半年間、車でヨーロッパ建築巡礼に出かけた。絵が好きで、画家に転ずるか建築を続けるか迷いながらの巡礼で、スケッチブックをひたすら埋めていく。青年ル





現代
住宅
併走

Endo Takao × Fujimori Terunobu

7 / 主客の異様なまでの縦長プロポーションがわかるだろう。住宅というより別のものを求めた結果。8 / 玄関。右の明るいところが入り口。9 / 1階奥の裏庭に面したりビング。今は、サンルームとして使われている。





・コルビュジエも、絵と建築に迷いながらの地中海建築巡礼だった。スケッチをひたすら重ねるなかで、ヨーロッパの石の建築と都市の感覚に心身をひたしていく。

ル・コルビュジエと同じように、遠藤さんは建築の道に進む気持ちで固めて巡礼を終え、帰国後すぐ設計にとりかかったのが自邸だった。

テーマはひとつ。「ヨーロッパの空間の空気を再現しよう」。

たとえば、家の中にベニシヤトレドで歩いた路地をつくりたい。路地を歩いて見上げると、石と煉瓦の壁と壁の狭いあいだから注ぐ光のすばらしさを再現するにはどうすればいいか。ほかに仕事もなく、計画案だけでも2年間に100案もつくった。

建築家のこの話に建築史家は時代の遷遷を思った。大正から昭和のはじめにかけてヨーロッパ建築



Endo Takao × Fujimori Terumobu

現代住宅
併走

10 / 2階庭側の寝室。コンクリート製のロマネスク空間。11 / トップライトの納まり。昔はガラス一枚で、結露の果だった。

遠

巡礼に出かけた堀口捨己青年と吉田五十八青年は、パルテノンを訪れて絶望感に襲われる。こんなものをつくってきたヨーロッパの伝統にはとても太刀打ちできない、日本独自の道を探ろう。と。そして、堀口は茶室へ、吉田は数寄屋に活路を見出していった。

藤青年がヨーロッパに魅せられても臆さなかつた点をもうひとつ、

建築より都市の、それもパリではなく中世系都市の下町に目を向けた点に時代の変遷を感じた。

居室にブレ・ロマネスクの教会を嗅ぎとつたのは建築史家の思い込みで、建築家の頭の中を占領していたのはヨーロッパの都市空間だった。

大阪郊外の中小住宅の中にヨーロッパの都市を封じ込めよう。石を打放しコンクリートに代えて。上階に上がり、中央を貫く廊下



13



12

12 / トイレと奥にバスルーム。船用の丸窓。13 / 台所。



づたいに歩くと、遠藤青年のねらいは確かに実現し、成功している。

細い廊下の左手はコンクリートの壁、右手はオープンで居室の吹抜けと一体化し、半ば空中を走る意外さ。そして見上げるとガラス越しに空がのぞく。光はまず廊下に落ち、さらに居室の吹抜けへと斜めにこぼれる。建築というより、都市の路地空間の変化の妙と光のおもしろさ。

こ

れまで、塔状住居以後の都市中小住宅が、なぜ打放しの壁構造を好むかについて考えてきた。木造ラーメン構造では難しい狭小敷地向けの空間の工夫が可能になるとか、あるいは中原洋さんからは、戦争で焼野原を見た体験が大きい、と聞いた。

こうした理由だけではなく、石でつくられた都市の下町空間への着目があったのだ。

ここまで書いてくると、敏感な読者は気づかれたかもしれない。道路際に立ち上がる打放しコンクリートの無口な壁。ちよつと凹みドアの見えない正面アブローチ。平面の中央を貫く廊下。そして2階の空中廊下。「住吉の長屋」(76)の原理がここにはある。

当時、安藤忠雄さんもヨーロッパ巡礼から帰ってきた時期で、親しく付き合っている家と安藤さんの住宅は同じ雑誌に発表されていた。

「住吉の長屋」で安藤さんの作風は大きく変わった。それまでは、さまざまな材料を使い、形も多様だった。自分の生まれ育った大阪下町の長屋の建て替えにあたり、遠藤邸がひとつの手がかりを与えたのはまちがいあるまい。(遠藤邸)の構成原理をもっと純化し、結晶までもっていったのが「住吉の長屋」といっていいだろう。

14/大阪を代表する
郊外住宅地のはずれに立つ。

遠藤剛生

Endo Takao

えんどう たかお/1941年山形県に生まれ、64年大阪工業大学を卒業。設計事務所実務を学んだ後、69年独立。ほぼ同世代の安藤忠雄、渡辺豊和と大阪の若手としてスタートし、デビュー作の遠藤邸はじめ独立住宅の秀作を手がけるが、全国的に知れ渡ったのは「千里山ロイヤルマンション」(81)に始まる打放しコンクリートによる集合住宅だった。イタリアの山岳都市のように天を衝くスカイラインに特徴があり、都市のなかに地形をつくっているかに見える。



藤森照信

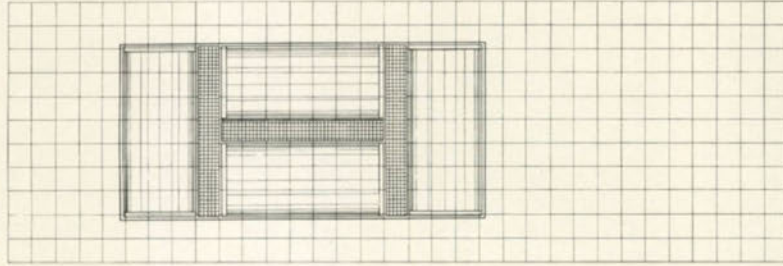
Fujimori Terumichi

ふじもり てるのぶ/建築史家。工学院大学工学部建築学科教授。建築家。著書に「明治の東京計画」(岩波書店 毎日出版文化賞)、「建築探偵の冒険 東京篇」(筑摩書房 日本デザイン文化賞 サントリー学芸賞)、「藤森照信の原 現代住宅再見(1~3)」(TOTO出版)。建築作品に「神長官守矢史料館」(1991)、「タンポポハウス」(95)、「赤瀬川原平邸(ニラハウス)」(97 日本芸術大賞)、「熊本県立農業大学校学生寮」(2000 日本建築学会作品賞) などがある。

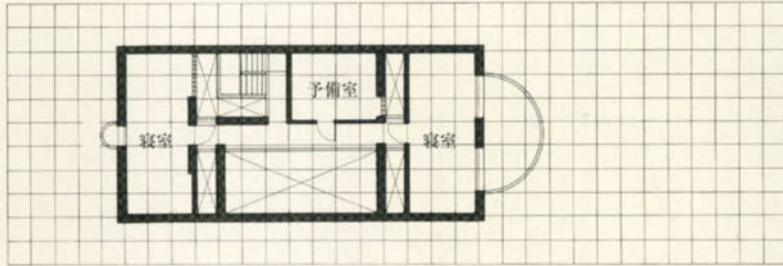
平面図

0 2 4m

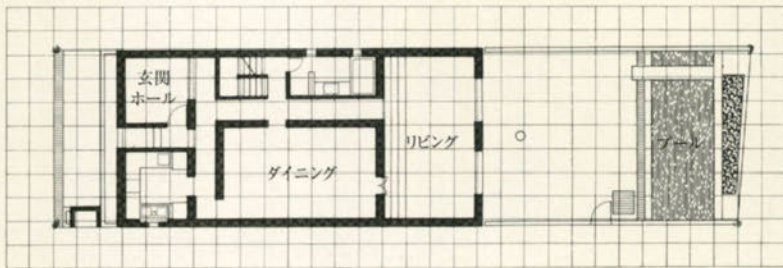
1/300



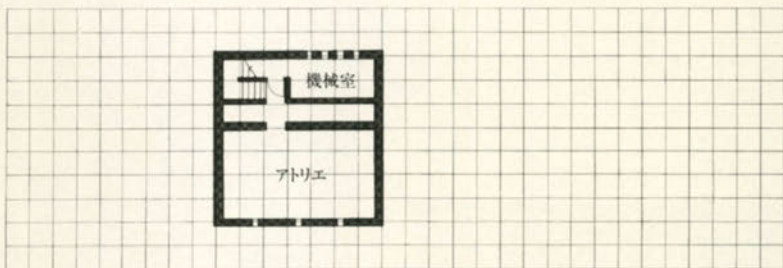
RF



2F



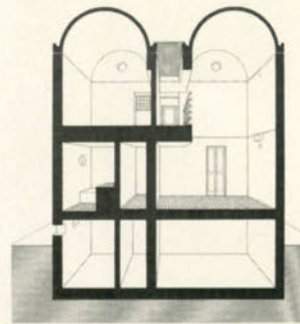
1F



B1F



断面パース



建築概要

所在地	大阪府箕面市	延床面積	228.07㎡
主要用途	専用住宅	階数	地下1階、地上2階
設計	遠藤剛生	構造	鉄筋コンクリート壁式構造
構造設計	南建築設計事務所	設計期間	1973年8月~1974年12月
施工	新和工務所	施工期間	1975年2月~7月
敷地面積	226.12㎡	図面提供	遠藤剛生建築設計事務所
建築面積	118.85㎡		

男子トイレ



写真右上／ブースの扉は全開できる折れ戸。右下／扉を閉じた状態。左ページ／スペースに余裕をもたせうえて、さまざまな状況の方に対応できるように設計されたブース。洋風便器の全ブースに跳ね上げ式とし型の手すりを設置しているので、手動車いす使用者の方も使用できる。手すりは右勝手、左勝手の両方が設置してある。



女子トイレ

写真下／ブース側から入り口方向を見たところ。幼児用小便器（右手）、パウダーカウンター（正面奥）は、ほかの女子トイレでも標準装備となっている。



2010年10月21日、ついに羽田空港国際線旅客ターミナルが開業した。ターミナルビルは地上5階建てで、延床面積約15万4000㎡。筋雲をイメージしたという全長180m、幅100mの大屋根の下に広がる大空間は、既存の空港ターミナルビルとは線を画した開放感に満ちている。建設・運営は東京国際空港ターミナル(株)（以下、TIAT）、設計は(株)梓設計、ペリクラークペリアーキテ

クツジャパン(株)、(株)安井建築設計事務所との3社からなる羽田空港国際線PTB設計共同企業体。
江戸の街並みを再現した店舗エリアやプラネタリウム型カフェなど、テーマパーク並みの商業施設が開業前から話題を呼んだが、見逃せないのはトイレ。外国人旅行者にも評判の高い日本の空港のトイレはどこまで進化したのか。TIATの北川真人さん、設計を担当した梓設計

の井上龍之介さんのおふたりに話を聞いた。
徹底した検証によるユニバーサルデザイン
建物全体の設計コンセプトは、シンプルでわかりやすいこと。「サインのデザインも大事ですが、たとえばエレベーター自体がわかりやすい位置にあるなど、構造

やレイアウトがシンプルで機能的であれば、サインも必要最小限でいいはず」と北川さん。フロアも3階が発階、2階が到着階という単純明快な構成で、モノレールの新駅はターミナルビルの3階と直結。改札を出て直進すれば上下移動もひとつの段差もないまま、ものの1分ほどでチェックインカウンターに到着する。
方、「空間演出にも力を入れました」と語るのは井上さん。到着階の2階は落

羽田空港国際線旅客ターミナル
国際空港のトイレの新スタンダード

最新水まわり物語

Number

26

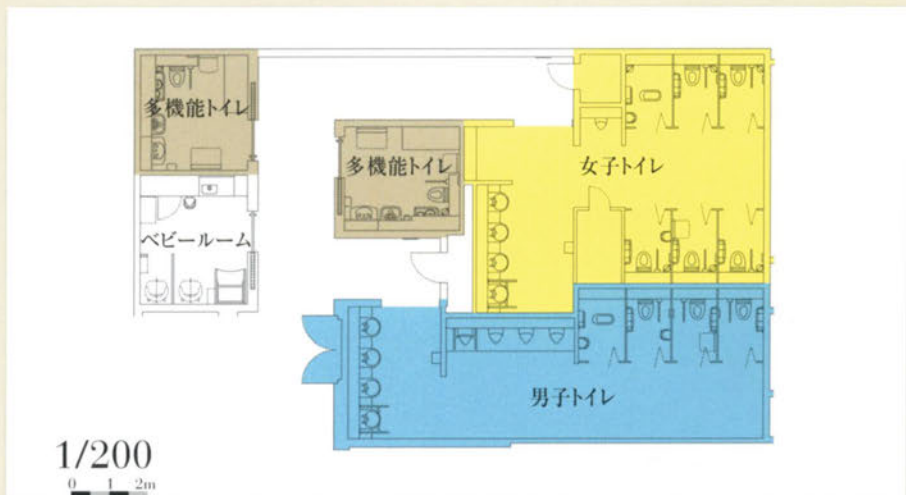
取材 文／大山直美
写真／山下恒徳

3階出発ロビー(写真提供/TIAT)。



アプローチ

写真上/色分けされた壁面や大きめのサインなど、視認性の高いアプローチ。



多機能トイレ

写真右/入り口から見た室内。左/見返し。扉は非常時の対応や介助者の出入りなどを考慮して、あえて手動に。手動扉は、任意の位置で停止できるよう新たに開発。



サイン

徹底した検証によって、点字付きの案内表示にもひと工夫。個々の便器の位置表示は不要で、まず男子 女子 多機能トイレの大まかな位置関係がすぐわかること。そして多機能トイレでは右勝手 左勝手、どちらがあるのか中に入らなくてもわかること。この2点を重視してシンプルに表示されている。また、日英中韓の4カ国語で音声案内を行っている。

女子トイレ



写真右上/洗面カウンター。床のタイルの色は1階の青系に対して2階は茶系。フロア全体のイメージに合わせている。

写真右下/ブース方向を見る。左/ブースの幅は1,200mm(一部はそれ以上)。



ち着いた温かみのある大地のイメージ、出発階の3階は明るく開放的な空のイメージでまとめ、素材や色づかいにも気を配ったとのこと。

こうした全体のコンセプトは当然ながら、トイレの内部においても貫かれている。リアフリーやユニバーサルデザイン(以下UD)への配慮に関しては、設計段階から「UD検討委員会」を発足。車いす使用者やさまざまな身体状況の方、有識者、設計者などが集まって検討を重ね、実際にモックアップをつくって検証するワークショップも開業2年前から約40回にわたり、実施してきた。北川さんいわく、「他空港の視察や、機器のモックアップ検証を実施し、何度も議論を重ねてハードとソフト(人的対応)を融合させ、UDのレベルアップを図りました。そのなかでもトイレは最も議論を重ねました」。設計変更が間に合うぎりぎりまで粘って検証を行い、実現にこぎつけた部分も多いという。

まず 一般トイレの第 印象は、なんといっても全体もブース内も余裕の広さがあること。ブースの扉は全開できる折れ戸で、全ブースに跳ね上げ式とし型の手すりを設置。手動車いす使用者なら 一般トイレでも十分用が足せる。便器を左右どちらかに片寄せたのは、スーツケースごと入れられるようにという配慮だ。

インテリアの色調は前述の建物全体のテーマカラーに合わせて、2階は茶、1階と3階は青が基調。男女とも室内のカラーリングは同じだが、入り口の壁面の色を赤と青で色分けすることで、入る前に認識しやすくしている。

次に、多機能トイレを見学した。各トイレに右勝手と左勝手、ふたつの多機能

トイレを配置。一見すると広めで機能が充実したトイレという印象だが、おふたりの解説を聞くうちに、並々ならぬ力の入れようが伝わってくる。

たとえば、扉は自動ではなくあえて手動にし、ドアメーカーと共同で開発した特注品。空港の国際線という場所柄、重度の身体状況の人が介助者なしで利用するとは考えにくい。自動ドアは、ドアに挟まれたり、非常時に開けられなくなったり、介助者が入り出す際にドアが全開されて中が丸見えになるなど、問題も少なくない。そこで、握力の弱い人でも開閉しやすいように扉を軽量化し、途中のどこでも開閉が止められるフリーストップ式の引き戸で、なおかつ施錠もしやすいドアを開発したという。ワークショップ参加者の方からは当初、手動への反対の声もかなり上がったが、手動式の課題を つひとつ解決し、最終的にモックアップで検証した結果、OKが出たとのこと。

また、多機能トイレ内で一段と目につくのは、緑色に光る洗浄ボタン。残念ながらTOTO製ではないが、北川さんからは「トイレにはウォッシュレットのボタンなど、いろんなボタンがあつて、 瞬 どれを押せばいいか迷いがちですが、最も利用するのは洗浄ボタン。この光るボタンのように、優先して識別できるものは高評価でした」とのひと言。

このほか、跳ね上げ手すりも既存のロック式は下部が脚に当たりやすいため、もつと高さを抑えたスリムなタイプを特注でつくったり、非常ボタンの位置も、床に倒れた人が届きやすい位置を検証で確かめるなどして、 つひとつ見直したそう。

羽田空港 国際線 旅客ターミナル

Haneda Airport International Passenger Terminal

建築概要

所在地	東京都大田区羽田空港2-6-5
主要用途	空港旅客ターミナル施設
事業主	東京国際空港ターミナル(TIAT)
設計監理	羽田空港国際線 PTB設計共同企業体 (梓設計、ペリクラークペリ アーキテツ ジャパン、 安井建築設計事務所)
施工(建築)	鹿島 北野特定建設工事 共同企業体(A工区、B工区) 戸田 鴻池特定建設工事 共同企業体(C工区) 清水 東急 ロッテ特定建設工事 共同企業体(D工区)
施工(衛生)	クリマテック(A工区) 西原衛生工業所(B工区) 関電工(C工区) 三建設備工業(D工区)
敷地面積	1,334,184.29㎡
建築面積	50,559.46㎡
延床面積	153,581.29㎡
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上5階
設計期間	2006年6月～2007年10月
施工期間	2008年5月～2010年7月

おもなTOTO使用機器

1階 2階女子トイレ
大便器ユニット:UTECS53特
和風大便器ユニット:UTEW23特
幼児用小便器ユニット:UTEU特
洗面器ユニット:UTEL46特
1階 2階男子トイレ
大便器ユニット:UTECS53特
和風大便器ユニット:UTEW23特
小便器ユニット:UTEU53
洗面器ユニット:UTEL46特
1階 2階多機能トイレ
車いす対応ユニット:UTED53特
補助犬トイレ
洗面器:L270C
水栓金具:TLHG31
サーモスタットシャワー金具:TMJ40C3S



東京国際空港ターミナル(株)
旅客サービス部
マネジャー

北川真人



株梓設計
設計室
有吉スタジオ

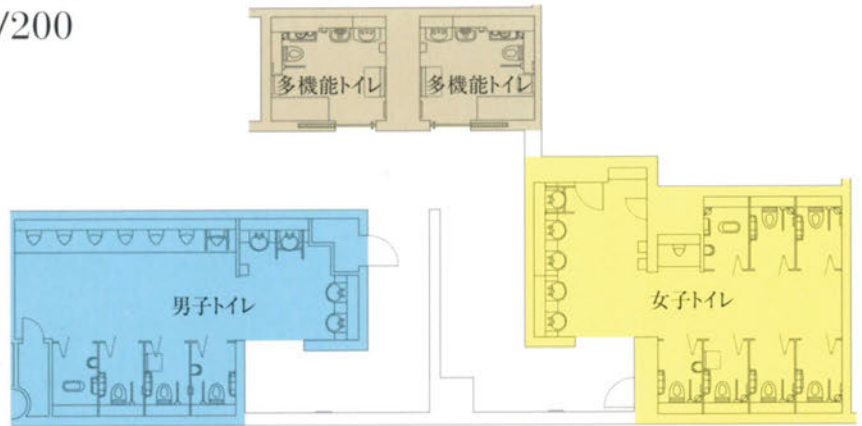
井上龍之介

2F 男子トイレ

写真右/し字に配置された洗面コーナー。左/清潔感はUDと並ぶ重要テーマ。壁掛け式小便器の清掃性の高さが生きる。



0 1 2m
1/200



なお、このターミナルのトイレでもうひとつ、話題を呼んでいるのが、補助犬専用のトイレ。ターミナル館内に設置されたのは日本初。補助犬と共に行動する人が、少しでも長時間の空の旅がしやすくなるきっかけになれば、と北川さん。

より多くの方に合格点をもらえること

UD全般について、北川さんはこう語る。「ある人にとって100点でも、別の人にとって30点ではUDとは言えない。より多くの方に合格点がもらえること、そしてその合格点がより高いことが理想です」。また、井上さんからは現場の苦労がうかがえるこんな本音も。「ただ、検証をすれば必ず『使にくい』という人はいます。そのひとりの意見をどこまで聞き入れるかは難しいところ。コストや工期との兼ね合いもあり、最後は『使にくい』はともかく、『使えない』部分だけではなくそうと、できるだけ見直したつもりです」。



補助犬トイレ

補助犬と共に行動する人が安心して長時間の旅ができるように、日本で初めてターミナル館内に専用トイレが設置された。

徹底した検証によって、これまで常識と思われていた設備の機能や配置などをひとつつ見直すことで生まれた、誰にでも使いやすいトイレ。はたして、国際空港の新スタンダードとなるかどうか、今後の評判が楽しみだ。

「逆目線」の家づくり

代表取締役 山本隆 さん

「よう言うんですわ。能ある鷹は爪を出せ、どんだけ能があっても、隠しといたら宝の持ち腐れやないかい、とね。とにかく考えて、やってみて、結果が出れば評価するし、失敗しても、そこからまた学ばばいいんですよ」

大阪弁特有のテンポのよい語り口で、泉北ホーム代表取締役・山本隆さんの言葉は、淀みなく続く。

泉北ホームの創業は1976（昭和51）年。他社との差異化を図るため、山本さんが23歳で始めた山本工務店を、ミニ開発の建て替え、それも3階建てというニッチな市場に特化して、1990（平成2）年に再スタートさせたものだ。約10年で、2×4工法3階建て着工数、大阪府下ナンバーワン。以降も着実に数字を伸ばし、今年は年間500棟を超える勢いを見せている。

3階建て、建て替え、2×4、すべてに理由がある

泉北ホームが、ニッチな市場に特化したのは、「大手や地元工務店が手を出さない」ことだけ

が理由ではなかった。

「ミニ開発の家には駐車スペースのない家が多かった。車をもっている人は、外に駐車場を借りている。だから、ガレージ付きの家に建て替えられれば、駐車場代を建て替え費用にまわすことができるはずだ、と」

ガレージ付きの家を狭小地に建てようとすると、当時、都市部では解禁されたばかりだった木造3階建ては規制が多くて不向き。当初は1階がRC造、2、3階が木造の混構造を採用することも多かったそうだ。

その後、次第に2×4工法の比重を高めていくことになるが、これもまた施工性や安全性ばかりが理由ではない。

「当時の住宅金融公庫では、3階建てに100万円の割増融資が受けられました。2×4なら、簡易耐火建築物でさらに100万円。つまりウチで建て替えれば200万円余計に借りられる。おまけに公庫の検査があつて、いわばオカミのお墨付きまでもらえる。地場の無名な工務店でも、お客さまからそういう信用が得られることが大きかった」

阪神・淡路大震災で2×4の

耐震性が注目されたことも追い風となる。地震の翌年には、工法を2×4に絞り、以降「2×4の3階建て」が泉北ホームの代名詞となっていく。

徹底した社員教育から新たなステージへ

創業以来、右肩上がり実績を伸ばしてきた泉北ホームだが、とくにこの2、3年の伸びは著しい。2011年は、その勢いのつて、2階建て住宅でもシェア拡大を目指す「2階建て元年」にするという。急成長の要因は何か。答えは明快だった。「人材教育です」

泉北ホームでは、とにかく「逆目線」での対応を徹底する。それは客の立場に立つ、というだけでなく、業者や社員同士でも同様。

「つねに相手の立場になって考える、ということ。何を望んでいるのか、どうやったらその人のテンションが上がるのか、相手の気持ちを汲み取るうとする意識。これがやると根付いてきたんだと思います」

たとえば、お客さまからの電

写真はすべて泉北ホームの「花博モデルハウス式号館」。左ページ上/吹抜けの玄関ホールにて、代表取締役山本隆さん。右/1階ホール脇の和室。左/1階リビング。右手にダイニングキッチン、正面2階の張り出し部分は書斎。左ページ下右/2階のリビング（子世帯）。左手は3階に上がる階段。下左/2階の主寝室兼シアタールーム。





Housing Company

今、住宅会社の動きから目が離せない。
活動領域はさまざまだが、
それぞれの土地柄、会社の性格、
そして会社をリードする人物の性格、
マーケティング戦略……。
これは、その個性的な活動で
地域に生きる会社のドキュメント。

Data



SENBOKU HOME

泉北ホーム株式会社
本社所在地
大阪府堺市
中区深井中町3211
電話 072(270)5055
代表取締役 山本 隆
創業 1976年
従業員数 180名
事業内容 総合建設業
(一般注文住宅)
売上高 70億円
(2010年5月期)
関連会社 泉北ホーム
住宅流通株、
泉北ホーム
建築設計事務所
URL www.senbokuhome.co.jp

花博モデルハウス
式号館のTOTO使用機器
1階トイレ ネオレストハイブリッド
シリーズRH1、
レストルームドレッサー
システムシリーズ
1階洗面所 セラ(洗面器)
2階トイレ ウォッシュレット
一体形便器ZJ1
2階洗面所 ライトトリードレッサー
STシリーズ

写真上／「花博モデルハウス式号館」の外観全景。下／広々とした1階のトイレ。



話に対する「15分ルール」。家が完成するまで、多くの不安を抱くお客さまからの問い合わせには、どんな疑問にも、必ず15分以内に折り返し連絡をとって丁寧に説明する。

もちろん、テレビでのCM放映、ショールーム機能も併設した新社屋の建設など、ここ数年の「仕掛け」で、認知度が急速に上がったことが、受注の増加

につながっているのはまちがいない。しかし、山本さんが「人材教育の成果」と即答するのは、物理的な仕掛け以上の手ごたえを感じているからにちがいない。それは、こんな言葉に端的に表れている。

「これまで営業担当者は、中途採用だけでした。22や23歳の若い子に、何千万円もするものを売らせるのは無理だ、と思って

いたからです。でも、自分たちでそういう人間を育てていくことも大切だと思って、今年初めて営業でも新卒をとることにしています」

人材育成に目処が立ったからこそその新たななるチャレンジ。社員が育っているという確かな自信と、5年、10年先を見据えた泉北ホームの経営戦略が、そこにあった。



SENBOKU HOME Yamamoto Takashi

山本 隆(やまもと たかし)／1953年大阪府生まれ。私立初芝高校卒業後、証券会社、不動産会社を経て、23歳で独立し、76年山本工務店を設立。90年に泉北ホームに名称変更。現在、注文住宅施工棟数において、大阪府下「3階建て部門」で2年連続1位を獲得している。

取材文／市川幹朗 写真／山下恒徳



新商品開発物語

新開発

「電解除菌水ノズル洗浄」

うちののノズルは いつでももきれいは

ウォシュレット、今度の進化は「電解除菌水ノズル洗浄」です。



いつもノズルを
きれいに保つ
新機能

「電解除菌水
ノズル洗浄」機能を
搭載した
3つのシリーズ



インタビュイー

梅本 歩

TOTO
ウォシュレット生産本部
ウォシュレット開発第一部
技術主幹

1980年6月の発売以来30年。累計出荷台数3000万台（*2011年1月時点）を突破したウォシュレットが、さらに進化しました。今回の新機能は「電解除菌水ノズル洗浄」。これまでの水道水によるセルフクリーニングに加え、水道水を電気分解することで除菌力をもたせた電解除菌水によってノズルを自動的に洗浄、よりきれいなノズルを保ちます。さらに、女性のために、広い範囲をやさしくサッと洗える「ワイドビデ洗浄」も同時搭載。そんなウォシュレットだけの新しい技術を、開発担当者が語ります。

取材文／大山直美 写真（ポートレート）／山下恒徳

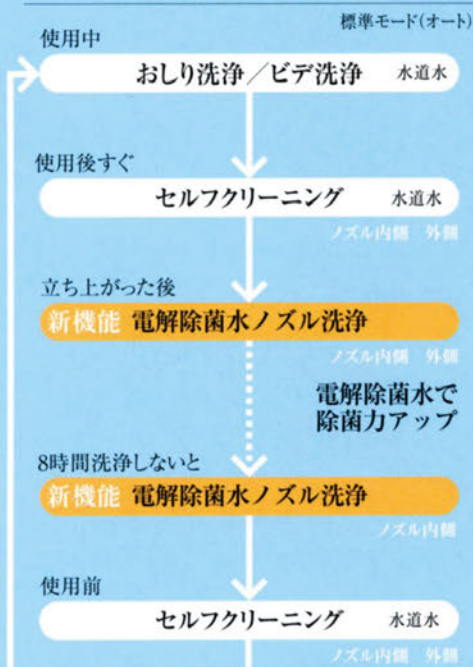
1

業界初^{*1}の「電解除菌^{*2}水ノズル洗浄」。ウォシュレット^{*3}が自動的にノズルを電解除菌水で洗います。

「電解除菌水ノズル洗浄」は、いつもノズルを清潔に保つ業界初の新機能です。おしり洗浄などの洗浄機能を使用すると、従来の「セルフクリーニング」に加えて、除菌作用のある電解除菌水がノズルの内側(通水路)・外側を自動的に洗浄。また、おしり洗浄などを8時間使用しないときは、電解除菌水が自動的にノズル内側を洗い、きれいな状態を保ちます。

*1/家庭用市販の温水洗浄便座において、2010年8月1日発売(TOTO調べ)。*2/試験機関=財団法人日本食品分析センター
試験方法=除菌効果試験 除菌方法=電解除菌水により洗浄 対象部分=ノズル表面全体、通水路 試験結果=99%以上。
*3/ウォシュレットはTOTOの登録商標です。

いつでもきれいを保つ、ノズル洗浄の流れ



除菌中はランプが点滅(青色)してお知らせします。



ノズルきれいボタン(手動)

気になるときに自分のタイミングで電解除菌水ノズル洗浄ができます

「電解除菌水」とは

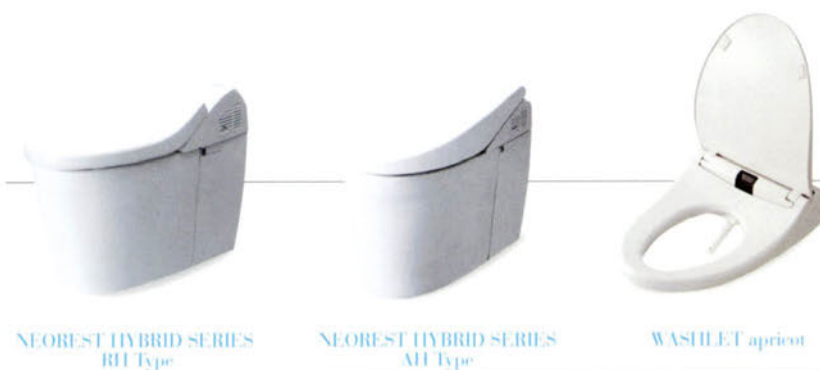
電解除菌水は、水道水(*4)に含まれる塩化物イオンを電気分解してつくられる、除菌成分(次亜塩素酸)を含む機能水で、おもに除菌・油分解・漂白の効果があります。水道水の成分からつくられ、数時間で元の水道水の成分に戻る環境にやさしいものです。しかもカートリッジ交換の手間も不要です。

*4/井戸水の場合、塩化物イオンが少ないため十分な効果が得られないことがあります。

「きれい」のレベルをどう考えるか

ただ、こういう開発にあたっては、すでに十分きれいなのに、さらにお金をかけてなんの意味があるんだとか、社内でのいろんな議論があるのも事実です。私自身はどんなに批判されてもやりたいと思っていましたが、うれしかったのは女性のみなさんが熱心に応援してくださったことです。会議で激論が戦わされている最中に、ある女性がこう言ったんですよ。「じゃああなた、このノズルをくわえてみなさいよ!」と(笑)。女性が求める「きれい」のレベルは全然違うんですね。男性は、たとえばこのテーブルの表面でも十分きれいだと思っ

トイレ空間における圧倒的な清潔感、どうしたら得られるのだろうか? 「電解除菌水ノズル洗浄」は、そんなきっかけから誕生した技術です。
あるとき、妻がまな板を除菌しているのを見て、これだと思いました。まな板って毎日洗っていても、少しずつ黒ずんできますよね。それをリセットするのが漂白剤の役割で、同じ機能をウォシュレットに搭載できないかと思っただけで、開発の発端です。



NEOREST HYBRID SERIES RH Type

NEOREST HYBRID SERIES AH Type

WASHLET apricot

ネオレスト
ハイブリッドシリーズ
RHタイプ

ネオレスト
ハイブリッドシリーズ
AHタイプ

ウォシュレット
アプリコット

RH1/CES9765 ¥326,550(税込)

AH2/CES9795 ¥358,050(税込)

F3A/TCF4531EAM ¥166,950(税込)

水でつくって水に戻る 究極の環境負荷ゼロの技術

ノズルを清潔にするには、たとえば市販の洗剤のタンクを設置して交換するのが早道ですが、それだとタンクが空になったまま使われるケースが大半になりかねないし、何千万個ものトイレから洗剤が流されるといふ状況がもたらす環境への負荷は莫大なものになってしまします。それより、もともとの水の力を引っ張り出す方法はないかと考えて、水を電気分解する方法を模索しはじめ

ど、「じゃあ、なめてみなさいよ」と言われたら、「えーっ、そこまでの清潔さは求めてないよ」と驚くはず。そういう差をみんなが実感したことが、商品化が実現した大きな要因のひとつだと思います。
方、温水洗浄便座に関する調査結果(59ページのグラフ参照)でも、ノズルの清潔さをさらに求めるといふ意見をいただきましたし、割合は少ないですが、感度の高い女性などのなかには、不特定多数の人が使う公共のトイレではウォシュレットを使わないという人もいます。ですから、あらためて、やる意義はあるんだなと勇気づけられましたね。

ました。

そもそも、水道水にしても井戸水にしても、水には塩化物が含まれています。海水に含まれる塩化ナトリウムはその代表例ですが、海水ほど味覚に感じ取れないとはいえ、日常生活で使う水には必ず塩化物が含まれているという事です。その塩化物を電気分解すると、市販の漂白剤と同じ成分である次亜塩素酸ができます。次亜塩素酸は衛生薬剤のなかで唯一、人体への影響がきわめて低い存在であることは、世界的に知られています。つまり、水に電気を通し、ある特定の分解をすれば、漂白したり、油分を分解したり、除菌する力が生まれるということですね。

それから、もうひとつの大きな特徴として挙げられるのは、電気分解した水は放っておくとまた元の水に戻るということです。市販の漂白剤は除菌性能を保つためにわざと強アルカリにしてあるので、大量に流すと環境によくありませんが、時間がたつと水に戻る電解除菌水は、いわば究極の環境負荷ゼロの技術といえます。

今、こんなふうに偉そうに説明していますが、じつはこれ、実験中に偶然発見したんです。ある担当者が電解除菌水をつくり溜めしておいて翌日使おうとしたら、ただの水になっていたので、「なくなっちゃった」と大騒ぎになって(笑)。いろいろ調べても原因がわからないので、ちよつと落ち着いて、電気分解後の濃度を追いかけてみたら、2〜3時間かけてゆっくり濃度が下がり、水に戻っていくことがわかった。これは使える、ということになったんです。

電気を強くすれば除菌効果も高くなりますが、性能が十分発揮できる程度にとどめてありますので、使う電気もわずかで、乾電池レベルです。電気代にすると月1円前後で、薬品も使わず、しかも新発売の「アプリコット」またはウォッシュレット 体形便器「ネオレスト」のAHかRHタイプをご購入いただければ、お値段据え置きで、

Umemoto Ayumu



「30年にわたる取り組みがあったからこそ
花開いた機能です」

うめもと あゆむ／TOTOウォッシュレット生産本部ウォッシュレット開発第一部技術主幹(工学博士 M.B.A)。1968年福岡県生まれ。93年九州大学大学院総合理工学研究所修士後、東陶機器(現TOTO)に入社。衛生陶器 トイレシステム ウォッシュレットなど主要製品における三次元設計製品開発プロセスの実用化に従事。2000年よりセラミックス事業部にて金属―セラミックス傾斜機能材料の実用化に従事。08年よりウォッシュレット開発第一部にて電解除菌水の技術開発と実用化に従事。なお、今回の開発にあたっては、地域の水の性格によって除菌力が不十分なものはないか、全国津々浦々の水道水を集めて検証したという。

梅本 歩

もれなく電解除菌水ノズル洗浄機能がついてくるので、お買い得です(笑)。

もうひとつの進化 「ワイドビデ洗浄」

ちなみに、新製品にはもうひとつ、新機能「ワイドビデ洗浄」を搭載しました。男性の私には表現しづらい部分ではありますが、女性のその日の状態や気分に応じ、従来のビデと、よりやさしく広い範囲が洗浄できる「ワイドビデ」が使い分けられます。

おしりを洗うというのは皮膚について何かを洗い落とす行為なのに対し、ビデは粘膜を洗うので、もつとやさしく洗わなくてはいけない。これも担当の女性が名言を發したんですが、「おしり洗浄の水で目を洗えますか」と。男性側は「いやあ、目は勘弁してよ、痛いじゃないですか」となりますよね。直径約40mmの範囲を均等に洗うことを目指しましたが、男性社員にはなかなかわかりづらいので、社内で流行語になった「手ビデ」——手をかざしてちよつと掌が 斉に洗える感覚で確認しました。「目ビデ」は勘弁してもらって(笑)。ぜひ女性のみなさんに体験していただきたいです。

最後に、電解除菌水ノズル洗浄について付け加えるなら、TOTOはこれまでも使用前後にノズルを洗う「セルフクリーニング」、抗菌化、表面に汚れがとまりにくくする「クリーンコート」など、ノズルをきれいにする部分だけを見ても、この30年間ずっとまじめに取り組んできたということです。長年洗っていないまな板をいきなり漂白剤につけてもきれいにならないのと同じで、これまでの多年にわたる取り組みがあつてこそ花開いた機能、これまでの開発の歴史のうえにのせた花束のようなものだという事です。

ウォシュレット30年の進化

年代	洗浄へのこだわり	ノズルの清潔さのために
1980	●ウォシュレット誕生	●斜め吐水 おしりを洗った後の汚れたお湯がノズルにかかりにくい設計。
1983	●ビデ洗浄	●セルフクリーニング (使用前洗浄のみ)
1985		●セルフクリーニング おしり洗浄の前後で、水道水によってノズルに付いた汚れを落とす機能。
1988	●ムーブ洗浄/洗浄位置調節	
1991		●ノズルの抗菌化 ノズル本体樹脂部分に抗菌樹脂を採用。
1992	●マッサージ洗浄	
1997	●やわらか洗浄	
1999	●ワンダーウェーブ洗浄 洗浄水を水玉連射方式にして、たたき洗いのように汚れ落ちをよくするとともに、使用水量を従来の約半分にした。	
2003		●クリーンコートノズル ノズル本体に、油分などをはじいて汚れをガードするコーティングを施した。
2004	●ワンダースピン洗浄 洗浄水を高速回転させる方式。節水と心地よい洗浄感を両立させた。	
2009	●新ワンダーウェーブ洗浄 水玉連射を改良した、量感を感じさせる「大玉」と、洗浄の力強さを感じさせる速い「小玉」を交互に出す方式。	
2011	●ワイドビデ洗浄	●電解除菌水ノズル洗浄

Information

お問い合わせ

商品の技術的なご質問は、技術相談室ナビダイヤルまでお問い合わせください。

Tel
0570-01-1010

Homepage
www.toto.co.jp/products/toilet/apricot/

カタログのご請求

くわしくは「ネオレストカタログ」「ウォシュレットカタログ」をご覧ください。カタログをご希望の方は、本誌に同封の「TOTO通信2011年春号読者アンケート用紙」にご記入のうえ、ファクスにてお申し込みください。

Fax
03-5451-1098

3

女性の気持ちに
向きあって
生まれた
「ワイドビデ洗浄」

女性の身体の変調は人それぞれ。とくに生理中とその前後の不快感や違和感は、気分や体調の変化に大きく影響します。女性のデリケートゾーン全体を広い範囲にやさしくさっと洗える「ワイドビデ洗浄」と、スポットでやさしくしっかり洗える「ビデ洗浄」の使い分けにより、清潔さを保ち、不快さを軽減します。

ワイドビデ洗浄

広い範囲を
やさしくさっと
洗えます。



写真 [ワイドビデ洗浄]
約1/250,000秒高速撮影

ボタンひとつで
自由に
使い分け

ビデ洗浄

洗いたいところを
スポット的にやさしく
しっかり洗えます。



写真 ワンダーウェーブ [ビデ洗浄]
約1/250,000秒高速撮影

2

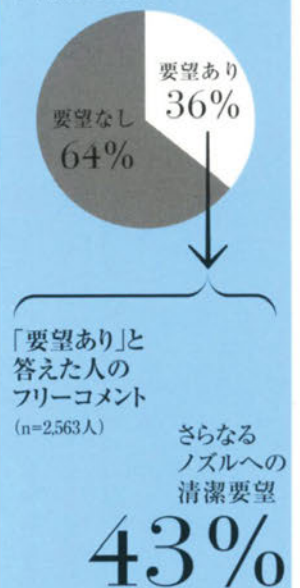
アンケート調査で
「ノズルの清潔性」
を求める声

温水洗浄便座を使用している人に聞いたところ、ノズルの清潔性に対する要望が高いことがわかりました。

Question

温水洗浄便座の
洗浄に関して、
要望がありますか？

*自宅で温水洗浄便座を「使用している」と答えた女性の回答。
n=7,083人 (2008年6月インターネット調査 TOTO調べ)



洗浄の改善
37%

乾燥 脱臭
などの改善
20%

その他
4%

五十嵐 淳展「状態の構築」

北海道・佐呂間にて、住宅を中心に設計活動を行う建築家、五十嵐淳氏の展覧会を開催します。

五十嵐氏は北海道ならではの風土や気候条件を前提としながらも、建築単体の存在を超えて、つねに「人間の原初的な居場所」という「状態」を模索しつづけることで、建築の普遍的な価値を私たちに問いかけています。独立後15年目を迎えて初の個展となる本展では、デビュー作「矩形の森」から最新作までの代表作18作品を、スケール1/10の木組み模型により、氏の出発点から現在までの作品の軌跡と、思考の深化の道筋を紹介します。

3カ月間、大阪南港の倉庫に
建てられた仮設の劇場。
12劇団が週替わりで
公演を行った。



Temporary Playhouse for Osaka Contemporary Theatre Festival

1間グリッドによる一室空間。
柱を拠り所として
居場所が生まれ、
多様な生活が広がる。



Rectangular Forest

大阪現代演劇祭仮設劇場

大阪府大阪市／2005年(写真=新建築社写真部)

矩形の森

北海道常呂郡／2000年(写真=新建築社写真部)

展覧会 「状態の構築」に 向けて

文／五十嵐 淳

勤めていた設計事務所を、なんのあてもなく辞め、ひとり設計を始めてから15年がたつ。

20代の頃、知人や友人の住宅を、少しずつ設計した。それは、何もわからず、何処へ向かえばいいのか、迷う日々であった。しかし、基本計画から図面・施工図・積算・現場監督までをすべてひとりで行なう状況であったことが、その後の設計活動のベースとなり、ひとつの大きな「定点」となった。それはたとえば、現場の施工性、構造の合理性、一般的な材料や素材についてなど。さらには寸法やスケールと、空間の関係についてリアルな感覚を養う場でもあった。

29歳のとき、「ミラーサイトハウス」の設計を始める。過去の経験とともに、北海道である「必然性」について考えた。同時に建築としての「強さ」や「新しさ」を求め、真剣に思考した。「ミラーサイトハウス」は計画案で終わるが、その後の基本となる考え方が生まれていた。それは「緩衝空間」を主題としたプランや空間である。これを継続しつつ、次に設計したのが「矩形の森」(北海道常呂郡／2000年)である。ここでは「緩衝空間」を「風除室」として取り入れた。また素材や構造は、現場での施工性・コストを考慮し、建築としてよい空間を目指した。寒冷地であることや、過去の経験、多様な事柄が、必然的に解けた瞬間であった。その後も過去の思考を継続しつつ、都度、新たな建築をつくり出そうとしてきた。

今回の展示では、2010年の春よりコツコツと、模型と作品集の準備を進めてきた。過去の建築の展覧会をいろいろと観た経験を「定点」とし、僕たちにて

アレハンドロ・アラヴェナ展

チリの現代建築界を牽引するアレハンドロ・アラヴェナ氏の活動を紹介。話題の「Chairless」も体験いただけます。

会期 2011年7月下旬～(予定)
講演会 2011年7月下旬(予定)
参加方法 事前申し込み制
*詳細はTOTOギャラリー 間
ウェブサイトをご覧ください。

TOTO
ギャラリー・
間

所在地 東京都港区
南青山1-24-3
TOTO乃木坂ビル3階
電話 03(3402)1010
ファクス 03(3423)4085
開館時間 11:00～18:00
(金曜日のみ19:00まで)
休館日 日曜日 月曜日 祝日
および展示替え期間
入場料 無料
アクセス
▶東京メトロ千代田線
▶乃木坂駅下車3番出口徒歩1分
▶都営地下鉄大江戸線
▶六本木駅下車7番出口徒歩6分
▶東京メトロ日比谷線
▶六本木駅下車徒歩7分
▶東京メトロ銀座線・半蔵門線
都営地下鉄大江戸線
▶青山一丁目駅下車徒歩7分

メール
マガジン
会員募集

TOTOギャラリー 間、TOTO出版ウェブサイトにてメールマガジンの会員を募集いたします。メールマガジンでは、TOTOギャラリー 間での展覧会情報や、TOTO出版発行の書籍情報をいち早くお届けいたします。
*詳細はTOTOギャラリー 間、TOTO出版ウェブサイトをご覧ください。

▶www.toto.co.jp/gallerma/

会期 / 5月13日(金)～7月9日(土)

Jun Igarashi The Construction of a State

※詳細はTOTOギャラリー 間
ウェブサイトをご覧ください。

写真 / 阿野太一

いがらし・じゅん / 建築家。1970年北海道生まれ。90年北海道中央工学院専門学校卒業。91～95年BEN建築設計事務所勤務。97年五十嵐淳建築設計事務所設立。現在、北海道工業大学非常勤講師、名古屋工業大学非常勤講師。おもな受賞に、2003年第19回吉岡賞(矩形の森)、05年 BARBARA CAPPOCHINビエンナーレ国際建築賞グランプリ、05年JCDデザイン賞優秀賞、グッドデザイン賞(大阪現代演劇祭仮設劇場)、07年JIA環境建築賞優秀賞(Annex)、09年JIA北海道支部住宅部会大賞(間の門)、10年第21回JIA新人賞(光の矩形)など。著書に、『ディテール別冊 五十嵐淳 / 状態の表示』(10年、彰国社)がある。

茫漠とした原野に建つ
児童養護施設。
44mの細長い一室空間に
居場所が点在。



Wind Circle

風の輪

北海道北見市 / 2003年(写真=阿野太一)

狭小住宅。緩衝空間の
新たな読み解きにより
生まれた拡散光が
室内を照らす。



Rectangle of Light

光の矩形

北海道札幌市 / 2007年
(写真=宮本誠也)

きること考えた。建築は土地に定着しているの、会場に持ち込むことは不可能である。よって通常の建築展は写真や模型などにより、擬似的に解説しようとする。またモックアップやインスタレーションを用いて思考を伝えようと試みる。さらにコンピュータによる、新たな表現方法にも可能性がある。

過去の展覧会の状況を把握したうえで、今回、僕たちが選んだ方法は、模型だった。建築の実空間の多様な大量な情報を伝えることは大変、困難なことだ。その多様な「状態」を想起させる、または想像していただくための「キッカケ」として、「大きな模型」を選択した。この考えを成立させるには、スチレンボードなどの素材では不可能だと判断した。また、一般的な大きな模型のように、人・家具・ディテール・色といった情報も、いっさい排除した。そこで僕たちが選んだ素材が「木」だった。木の質感に何かを求めたわけではなく、「不自由な状態の模型」をつくるにあたり、光・空間・場の状態を、意味付けなく素材が前に出ることなく、表現できるのが「木」だと考えたからだ。

また展覧会と同時発行される作品集『状態の構築』(63ページ参照)では、時系列に解説しつつ、継続した思考や、作品と作品の関係性を感じ取っていただけよう、前半では細かな思考の経緯を書いた。後半は作品集の基本である設計主旨、配置図、プラン図、断面図、アクセメ図、写真で構成している。

展覧会と作品集を通して、僕の思考の経緯や未来について、想像を巡らせていただければ幸いです。



Igarashi Jun

住宅エコポイント対象製品に 「節水型トイレ」と 「高断熱浴槽」が加わりました

トイレでは「ネオレスト」など洗浄水量6.5L以下の製品が、浴槽では「サザナ」など“魔法びん浴槽”機能搭載の製品が対象です。ポイント取得にはエコリフォーム（①窓の断熱改修、または②外壁、屋根・天井または床の断熱改修）とあわせて実施することが必要です。

→ くわしくは
www.toto.co.jp/products/ecopoint/
 TOTO住宅エコポイント相談室
 0120(10)0035
 受付時間/9:00~17:00
 (夏期休暇・年末年始をのぞく)

www.toto.co.jp

お詫びと訂正

前号 64 ページ「東急キャピトルタワー」の建築概要の企画 総合プロデューサー欄で、「東急急行電鉄」とあるのは、正しくは「東京急行電鉄」です。ここに訂正してお詫び申し上げます。



「CERA CATALOGUE 2011」を 発行しました



KWC社AVAシリーズキッチン水栓 KW0191023/46,200円(税込)

セラトレーディングでは、2011年の新商品を掲載したカタログ「CERA CATALOGUE 2011」を発行しました。今年度新しく加わった「AVA」シリーズは、スイスのトップメーカーKWC社の結晶といえる高い品質に加え、どの角度からも美しく見えるようにデザインされた完成度の高い水栓です。キッチン水栓のほかに洗面水栓もご用意しております。そのほか、イタリア・ガラシヤ社洗面器や、フランス・アリア社バスタブなど多数ご用意しております。カタログのご請求はセラトレーディングホームページ、または電話・ファクスにてお申し込みください。



ガラシヤ社
オルビスシリーズ洗面器：
GA6071/66,150円(税込)

www.cera.co.jp

TOTOからのお知らせのページです。
イベント、新商品、最新情報など
知っておいていただくと
お役に立つ情報を心がけています。
合わせてご注目ください。

TOTO出版



TOTO出版のお知らせ

book 1

「五十嵐淳／状態の構築」

北海道・佐呂間を拠点に活動する建築家・五十嵐淳氏の初の作品集。1,820mmグリッドで柱が林立する「矩形の森」や、原野に横たわる細長い姿が美しい「風の輪」などの初期の代表作から、最新作の「Small Atelier」までの30作品を、豊富な写真とイラストレーターとの協働で生まれた美しい図面で紹介。巻頭には、建築思

考の過程を全作品を通してスケッチなどとともで紹介する「プロセス」を掲載。寒冷地のきびしい環境に対応し、そこから導かれた「風除室」や「凍結深度」などの建築的アイデアを駆使しながら、建築の普遍的なテーマである「光」や「距離感」の理想的な状態を構築しつづける、五十嵐氏の建築の魅力が詰まった一冊です。



- 著者／五十嵐淳
- 定価／3,150円(3,000円+税)
- 体裁／A5判、ソフトカバー、326ページ
- 発売日／2011年5月中旬



同封の「TOTO通信アンケート」にお答えいただいた方の中から、抽選で10名の方にプレゼントします。

book 2

「無為のデザイン」

シンガポール、北京、ソウル、東京などのハイアット系ホテルやMUJI店舗のほか、伝説のパー・ラジオなど、国内外の商業空間のデザインを数多く手がけるインテリアデザイナー・杉本貴志氏のエッセイ集。東京藝術大学卒業後、イ

ンテリアデザイナーとして30数年間にわたり第一線を走りつづけてきた杉本氏が、これまでに出会った人々、触れあったものや土地、そしてかかわったプロジェクトなどを通じて“デザインすることの意味”を語る一冊。



- 著者／杉本貴志
- 定価／2,940円(2,800円+税)
- 体裁／菊判、ハードカバー、256ページ

www.toto.co.jp/publishing

セラトレーディング

●所在地／東京都港区南青山1-24-3
TOTO乃木坂ビル
1階 地下1階
●電話／03(3796)6151
●ファクス／03(3402)7185
●営業時間／10:00～18:00
●定休日／日曜日 祝日
夏期休暇 年末年始

Bookshop TOTO

●所在地／東京都港区南青山1-24-3
TOTO乃木坂ビル2階
●電話／03(3402)1525
●定休日／日曜日 月曜日
祝日「TOTOギャラリー間」休館中の土曜日
夏期休暇 年末年始

TOTO出版

●所在地／東京都港区南青山1-24-3
TOTO乃木坂ビル2階
●電話／03(3402)7138
●ファクス／03(3402)7187
全国の書店でお求めください。直営店Bookshop TOTOでもお求めになれます。書店遠隔の方はお問い合わせください。



アクセス／●東京メトロ千代田線「乃木坂」駅下車3番出口徒歩1分●都営地下鉄大江戸線「六本木」駅下車徒歩6分●東京メトロ日比谷線「六本木」駅下車徒歩7分●東京メトロ銀座線 半蔵門線・都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」駅下車徒歩7分

次号『TOTO通信』は2011年7月上旬発行の予定です。

♪ トイレの水が気になるうた

トイレの水が

気になって

あちこち訪ねて

行くわたし

お宅のトイレは

何リットル？

お宅のトイレは

何リットル？



**住宅エコ
ポイントが
付きました**

TOTOのトイレは4.8リットル。

GREEN MAX 4.8



NEOREST AH type

NEOREST RH type

GG

GG-800

新レストバル

新ビュアレストEX

新ビュアレストQR

断熱改修とセットで
**住宅エコポイント
対象製品**

お宅のトイレ **検索**

**住宅エコポイント取得には
断熱改修が必須です**

「節水型トイレ」や「高断熱浴槽」により住宅エコポイントを取得するには、窓の断熱改修または外壁、屋根・天井又は床の断熱改修のエコリフォームとあわせて実施することが必要です。

TOTO
GREEN
CHALLENGE

住宅エコポイントに関するお問い合わせ TOTO住宅エコポイント相談室 ☎ 0120-10-0035 受付時間 9:00~17:00(夏期休暇・年末年始を除く)
商品についての技術的なお問い合わせ TEL.0570-01-1010 受付時間:平日9:00~18:00/土・日・祝10:00~18:00(夏期休暇・年末年始を除く) URL: www.com-et.com